

(様式第 10)

伊総第 2 1 - 1 4 4 号
令和 3 年 1 0 月 5 日

厚生労働大臣 後藤 茂之 殿

学校法人 東海大学
理事長 松前 義昭

東海大学医学部付属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4
氏 名	学校法人 東海大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東海大学医学部付属病院

3 所在の場所

〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143	電話 (0463) 93 - 1121 (代)
-----------------------------	-------------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1呼吸器内科	2消化器内科
5神経内科	6血液内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科
診療実績	3循環器内科
	4腎臓内科
	7内分泌内科
	8代謝内科
	11リウマチ科

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載す

ること。

(2) 外科

外科	有・無
外科と組み合わせた診療科名	
1呼吸器外科	2消化器外科
3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	6心臓血管外科
7内分泌外科	8小児外科
診療実績	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科	2小児科	3整形外科	4脳神経外科	5皮膚科	6泌尿器科	7産婦人科
8産科	9婦人科	10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	15麻酔科	16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有・無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科 2矯正歯科 3口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 腎内分泌代謝内科	2 移植外科	3 脳神経外科	4 形成外科
5 皮膚科	6 腎臓泌尿器科	7 救命救急科	8 耳鼻咽喉科
9 頭頸部外科	10 麻酔科	11 リハビリテーション科	12 歯科口腔外科
13 臨床検査科	14 緩和ケア内科	15 病理診断科	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
床	床	床	床	804床	804床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	522人	154人	554.4人	看 護 補 助 者	145人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	18人	11人	19.9人	理 学 療 法 士	31人	臨床検査技師	147人
薬 剤 師	65人	4人	67.9人	作 業 療 法 士	11人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	9人	そ の 他	0人
助 産 師	19人	3人	21.3人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1001人	84人	1063.6人	臨 床 工 学 士	33人	医療社会事業従事者	15人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	24人
歯科衛生士	9人	0人	9人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	186人
管理栄養士	13人	2人	14.6人	診療放射線技師	73人	そ の 他 の 職 員	0人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	70人	眼 科 専 門 医	9人
外 科 専 門 医	47人	耳鼻咽喉科専門医	15人
精 神 科 専 門 医	2人	放 射 線 科 専 門 医	14人
小 児 科 専 門 医	18人	脳神経外科専門医	14人
皮 膚 科 専 門 医	5人	整 形 外 科 専 門 医	16人
泌尿器科専門医	7人	麻 酔 科 専 門 医	13人
産婦人科専門医	20人	救 急 科 専 門 医	15人
		合 計	265人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (渡辺 雅彦) 任命年月日 平成 31年 4月 1日

平成28年度 IC 記載状況確認分科会座長・IC 管理責任者
平成29年度 IC 記載状況確認分科会座長・IC 管理責任者
平成29年度高難度新規医療技術評価委員会委員長、未承認新規医薬品等評価委員会委員長
平成29年度東海大学医学部附属病院医療安全に係る事象の病院長報告構成員
平成30年度 IC 記載状況確認分科会座長・IC 管理責任者
平成30年度高難度新規医療技術評価委員会委員長、未承認新規医薬品等評価委員会委員長
平成30年度東海大学医学部附属病院医療安全に係る事象の病院長報告構成員
平成31年(令和元年)度医療安全管理委員会オブザーバー
令和2年度医療安全管理委員会オブザーバー
令和3年度医療安全管理委員会オブザーバー

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日当たり平均入院患者数	716.7人	13.3人	730.0人
1 日当たり平均外来患者数	2,149.9人	93.1 人	2,243.0人
1 日 当 たり 平 均 調 剤 数	1097.3剤		
必要医師数	198人		
必要歯科医師数	2人		
必要薬剤師数	25人		
必要（准）看護師数	440人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施 設 名	床面積	主要構造	設 備		概 要	
集中治療室	710.74m ²	鉄筋コン クリート (免震)	病 床 数	32床	心 電 計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 159.36 m ² [移動式の場合] 台 数 台		病床数 13床			
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合] 床 積 82.8 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	375.52m ²	鉄筋コン クリート (免震)	(主な設備) ラボスペクト008α、XN-Alpha			
細菌検査室	107.73m ²	鉄骨鉄筋コ ンクリート造	(主な設備) マイクロスキャンW/A、バクテックMIGT			
病理検査室	284.68m ²	鉄筋コン クリート (免震)	(主な設備) プッシュプル換気装置付流し台・切出台、 自動染色装置、自動包理装置等			
病理解剖室	84.68m ²	鉄骨鉄筋コ ンクリート造	(主な設備) 解剖台、ホルマリン対応型切出台、 プッシュプル換気装置付流し台			
研 究 室	11,152.96 m ²	鉄骨鉄筋コ ンクリート造	(主な設備)			
講 義 室	1,256.16m ²	鉄骨鉄筋コ ンクリート造	室数	8室	収容定員	834人
図 書 室	2,099.45m ²	鉄骨鉄筋コ ンクリート造	室数	1室	蔵 書 数	167,269冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		87.8%	逆紹介率		64.4%
算出根拠	A：紹介患者の数		19,586人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		18,362人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		5,452人		
	D：初診の患者の数		28,507人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三木 保	東京医科大学 特任教授 (医師) (前東京医科大学病院長)	○	特定機能病院の管理者を経験し広い識見その他の学識経験を有している者。また、特定機能病院医療安全管理責任者を経験し医療安全管理に長けている者。さらに、医療安全や質の向上を目的に医療安全文化の構築を推進する者	有・ 無	医療に係る安全管理に関する識見を有する者
大塚 達生	弁護士 (神奈川県弁護士会)		患者さん側の立場に立った弁護をされている者	有・ 無	法律に関する識見を有する者
山口 育子	認定 NP0 法人 ささえあい医療人権センター COML 理事長		患者と医療者の協働の実現により医療現場により良いコミュニケーションを築く活動をされている者	有・ 無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
黒石 正幸	伊勢原市保健福祉部長		行政としての立場及び一般の立場の代表者	有・ 無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者

安田 聖栄	医療法人社団 あんしん会四 谷メディカル キューブ理事 長（医師） （元東海大学 医学部教授、 前東海大学医 学部付属病院 副院長）		東海大学医学 部付属病院の 医療安全統括 者を経験し、 医療安全管理 に長けている 者	有・無	医療に係る安 全管理に関す る識見を有す る者
千野 修	東海大学医学 部付属東京病 院 副院長・医療 安全対策室長		東海大学医学 部付属東京病 院の医療安全 統括者であ り、医療安全 管理に長けて いる者。また 付属病院群の 医療安全に係 る責任者の代 表者	有・無	医療に係る安 全管理に関す る識見を有す る者

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法 当院ホームページに委員名簿、委員の選定理由を掲載 議事録は監査委員会終了後に掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法	66 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法(上皮性卵巣がん、卵管がん、又は原発性腹膜がん)	0 人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	3 人
術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法 小腸腺がん(ステージがⅠ期、Ⅱ期又はⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0 人
自己軟骨細胞シートによる軟骨再生治療 変形性膝関節症(軟骨欠損を伴うものであって、高位脛骨骨切り術の適応となるものに限る。)	4 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名			人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

4 指定難病についての診療

疾患分類	疾患名	患者数	疾患分類	疾患名	患者数
1 001	球脊髄性筋萎縮症	2	71 098	好酸球性消化管疾患	1
2 002	筋萎縮性側索硬化症	28	72 102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	4
3 003	脊髄性筋萎縮症	28	73 113	筋ジストロフィー	1
4 004	原発性側索硬化症	28	74 114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1
5 005	進行性核上性麻痺	3	75 119	アイザックス症候群	1
6 006	パーキンソン病	82	76 122	脳表ヘモジドリン沈着症	1
7 008	ハンチントン病	1	77 125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	17
8 011	重症筋無力症	28	78 128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	8
9 013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	82	79 129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	9
10 014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	14	80 131	アレキサンダー病	2
11 015	封入体筋炎	28	81 132	先天性核上性球麻痺	28
12 017	多系統萎縮症	9	82 141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	51
13 018	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	7	83 154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	19
14 019	ライゾーゾーム病	4	84 158	結節性硬化症	2
15 020	副腎白質ジストロフィー	2	85 161	家族性良性慢性天疱瘡	1
16 021	ミトコンドリア病	19	86 162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
17 022	もやもや病	19	87 166	弾性線維性仮性黄色腫	1
18 026	HTLV-1関連脊髄症	8	88 169	メンケス病	17
19 028	全身性アミロイドーシス	16	89 170	オクシタル・ホーン症候群	17
20 033	シュワルツ・ヤンベル症候群	1	90 171	ウィルソン病	17
21 035	天疱瘡	10	91 172	低ホスファターゼ症	23
22 040	高動脈炎	12	92 173	VATER症候群	4
23 042	結節性多発動脈炎	4	93 179	ウィリアムズ症候群	4
24 043	顕微鏡的多発血管炎	4	94 186	ロスマンド・トムソン症候群	1
25 044	多発血管炎性肉芽腫症	141	95 220	急速進行性糸球体腎炎	243
26 045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	15	96 221	抗糸球体基底膜腎炎	19
27 046	悪性関節リウマチ	3	97 222	一次性ネフローゼ症候群	38
28 047	パーシャー病	7	98 224	紫斑病性腎炎	19
29 049	全身性エリテマトーデス	428	99 227	オスラー病	4
30 050	皮膚筋炎／多発性筋炎	182	100 228	閉塞性細気管支炎	2
31 051	全身性強皮症	42	101 229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1
32 052	混合性結合組織病	10	102 230	肺胞低換気症候群	4
33 053	シェーグレン症候群	123	103 231	$\alpha 1$ -アンチトリプシン欠乏症	149
34 054	成人スチル病	5	104 234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	2
35 056	ベーチェット病	8	105 235	副甲状腺機能低下症	2
36 057	特発性拡張型心筋症	6	106 237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	48
37 058	肥大型心筋症	11	107 238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	23
38 060	再生不良性貧血	31	108 239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	24
39 061	自己免疫性溶血性貧血	34	109 250	グルタル酸血症2型	2
40 062	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	110 251	尿素サイクル異常症	60
41 063	特発性血小板減少性紫斑病	29	111 260	システロール血症	167
42 064	血栓性血小板減少性紫斑病	2	112 266	家族性地中海熱	2
43 065	原発性免疫不全症候群	80	113 271	強直性脊椎炎	1
44 066	IgA 腎症	14	114 280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	5
45 067	多発性嚢胞腎	12	115 281	クリッペル・トレンネー・ウェーバー症候群	4
46 068	黄色靱帯骨化症	30	116 283	後天性赤芽球ろう	6
47 069	後縦靱帯骨化症	30	117 284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	4
48 071	特発性大腿骨頭壊死症	6	118 285	ファンconi貧血	4
49 072	下垂体性ADH分泌異常症	16	119 287	エプスタイン症候群	39
50 074	下垂体性PRL分泌亢進症	15	120 288	自己免疫性出血病XIII	1
51 075	クッシング病	35	121 290	非特異性多発性小腸潰瘍症	4
52 076	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	10	122 291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	1
53 077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19	123 295	乳幼児肝巨大血管腫	45
54 078	下垂体前葉機能低下症	103	124 298	遺伝性腭炎	66
55 079	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	167	125 300	IgG4関連疾患	84
56 081	先天性副腎皮質酵素欠損症	4	126 301	黄斑ジストロフィー	3
57 082	先天性副腎低形成症	5	127 304	若年発症型両側性感音難聴	6
58 083	アジソン病	3	128 305	遅発性内リンパ水腫	3
59 084	サルコイドーシス	27	129 306	好酸球性副鼻腔炎	7
60 085	特発性間質性肺炎	87	130 307	カナバン病	2
61 086	肺動脈性肺高血圧症	31	131 308	進行性白質脳症	35
62 087	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	31	132 309	進行性ミオクローヌてんかん	2
63 088	慢性血栓性肺高血圧症	17	133 315	ネイルパテラ症候群(爪・膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	4
64 089	リンパ脈管筋腫症	1	134 316	カルニチン回路異常症	2
65 090	網膜色素変性症	3	135 317	三頭酵素欠損症	2
66 093	原発性胆汁性肝硬変	96	136 318	シトリン欠損症	60
67 094	原発性硬化性胆管炎	23	137 322	β -ケトチオラーゼ欠損症	2
68 095	自己免疫性肝炎	32	138 327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る)	761
69 096	クローン病	40	139 331	特発性多中心性キャッスルマン病	4
70 097	潰瘍性大腸炎	43			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料(一般7対1)	・特定集中治療室管理料4(注2・4・5)
・超急性期脳卒中加算	・総合周産期特定集中治療室管理料1・2
・診療録管理体制加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・医師事務作業補助体制加算[(イ)15対1]	・小児入院医療管理料2・4(プレイルーム加算)
・急性期看護補助体制加算(25対1)5割以上	・地域歯科診療支援病院歯科初診料
・看護職員夜間配置加算(12対1)	・歯科外来診療環境体制加算2
・療養環境加算	・歯科診療特別対応連携加算
・無菌治療室管理加算1・2	・地域歯科診療支援病院入院加算
・緩和ケア診療加算	・救急医療管理加算
・精神科リエゾンチーム加算	・夜間急性期看護補助体制加算100:1 (夜間看護体制加算)
・栄養サポートチーム加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・医療安全対策加算1	・排尿自立支援加算
・感染防止対策加算1	・地域医療体制確保加算
・感染防止対策地域連携加算	
・抗菌薬適正使用加算	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	
・呼吸ケアチーム加算	
・後発医薬品使用体制加算1	
・病棟薬剤業務実施加算1・2	
・データ提出加算2	
・入退院支援加算1(入院時支援加算)	
・認知症ケア加算1	
・救命救急入院料3・4(注3・5・7)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・糖尿病合併症管理料	・胎児心エコー法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来緩和ケア管理料	・脳波検査判断料1
・移植後患者指導管理料(臓器・造血幹細胞)	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料 (高度腎機能障害患者指導加算)	・補聴器適合検査
・腎代替療法指導管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・院内トリアージ実施料	・内服・点滴誘発試験
・外来放射線照射診療料	・腹腔鏡下胃全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談体制 充実加算	・画像診断管理加算1・2
・がん治療連携計画策定料	・遠隔画像診断
・肝炎インターフェロン治療管理料	・ポジトロン断層撮影
・外来排尿自立指導料	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・ハイリスク妊産婦連携指導料1・2	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1・2	・外傷全身CT加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・心臓MRI撮影加算
・在宅血液透析指導管理料	・乳房MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算	・外来化学療法加算1
・遺伝学的検査(遺伝学的検査の注)	・無菌製剤処理料
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体 (抗体特異性同定検査)	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・検体検査管理加算Ⅰ・Ⅳ	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・遺伝カウンセリング加算	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・がん患者リハビリテーション料
・時間内歩行試験	・リンパ浮腫複合的治療料

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・エタノールの局所注入 (甲状腺に対するもの・副甲状腺に対するもの)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・経皮的中隔心筋焼灼術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・センチネルリンパ節加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・皮膚移植術(死体)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び 経静脈電極拔去術
・組織拡張器による再建手術(一連につき) (乳房(再建手術)の場合に限る)[一次再建・二次再建]	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び 両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・補助人工心臓
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・画像誘導密封小線源治療加算
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 及び 脳刺激装置交換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を 用いるもの)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び 肝切除(葉以上)を伴うものに限る)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))	・体外衝撃波胆石破碎術
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・腹腔鏡下肝切除術
・網膜再建術	・体外衝撃波膀胱石破碎術
・人工中耳植込術	・腹腔鏡下膀胱腫瘍摘出術
・人工内耳植込術	・腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術
・埋込型骨導補聴器移植術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・埋込型骨導補聴器交換術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・上顎洞形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移 動を伴う場合に限る。)[歯科診療以外の診療に係るものに限る]	・同種クリオプレシビート作製術
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき) (MRIによるもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を 伴わないもの)(腋窩郭清を伴うもの))	・焦点式高エネルギー超音波療法
・腹腔鏡下膀胱頭部腫瘍切除術	・同種死体腎移植術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後) [一次一期再建・一次二期的再建および二次再建]	・生体腎移植術
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜・ 心膜合併切除を伴うものに限る))	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・食道縫合術(穿孔・損傷)(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝 性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵 巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術に対する乳房切除術)

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・輸血管理料Ⅰ	・病理診断管理加算2
・輸血適正使用加算	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・歯科治療時医療管理料
・コーディネート体制充実加算	・歯科口腔リハビリテーション料2
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・口腔病理診断管理加算1
・麻酔管理料(Ⅰ)・(Ⅱ)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・放射線治療専任加算	・歯科技工加算
・外来放射線治療加算	・歯科矯正診断料
・高エネルギー放射線治療	・歯周組織再生誘導手術料
・1回線量増加加算	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・強度変調放射線治療(IMRT)	・精密触覚機能検査
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・体外照射呼吸性移動対策加算	・CAD/CAM冠
・定位放射線治療	・骨髄微小残存病変量測定
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・椎間板内酵素注入療法
・胸腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・角膜移植術(内皮移植加算)
・ウイルス疾患指導料(注2に規定する加算)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・小児運動器疾患指導管理料	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・婦人科特定疾患治療管理料	・不整脈手術 左心耳閉鎖術 (経カテーテル的手術によるもの)
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
・BRCA1/2遺伝子検査	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
・がんゲノムプロファイリング検査	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・国際標準検査管理加算	・経皮的下肢動脈形成術
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・全身MRI撮影加算	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・連携充実加算	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年5回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 40 例 / 剖検率 4.2 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ヒト多発性骨髄腫モデルマウスにおけるがんニッチ間相互作用の解析	安藤 潔	血液・腫瘍内科学	2,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
長期に開存可能な下肢ステント:超弾性合金の変形に追従する血液適合性炭素薄膜の開発	長谷部光泉	画像診断学	4,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細胞活性化時の生理機能変化を担う「分子レバレッジ機構」の解明	後藤 信哉	循環器内科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多検体日本人口腔癌のエクソーム解析に基づく移植マウスモデルを用いた発がん機構解析	太田 嘉英	口腔外科学	2,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌幹細胞及び同前駆細胞を駆逐する二段階分子標的療法の開発	鈴木 秀和	消化器内科学	4,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
椎間板細胞のリプログラミング手法の確立と再生医療への橋渡しへ向けた基盤技術開発	酒井 大輔	整形外科学	3,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
既成概念を打破する血清網羅的糖ペプチド解析による卵巣癌早期診断の社会実装	三上 幹男	産婦人科学	3,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄異形成症候群の発症メカニズムに与える活性酸素(ROS)の影響	鬼塚 真仁	血液・腫瘍内科学	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腸内細菌叢による発達障害(神経発達症)の行動特性への影響の解明	三上 克央	精神科学	300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ナノダイヤモンド新規MRI造影剤による高精細MRIリンパ造影法の開発	松本 知博	画像診断学	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ウイルス感染喘息における自然型及び獲得型アレルギーの病態解明と新規制御機構の検討	加藤 政彦	小児科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
創薬にむけたIPF急性増悪の病態研究:ステロイド不応性シグナル伝達経路に着目して	伊藤 洋子	呼吸器内科学	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糸球体足細胞最終分化維持機構の解明と糖尿病性腎症に対する新規治療応用の開発	和田 健彦	腎・代謝内科学	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多発性骨髄腫におけるセマフォリン3Aシグナルを介した薬剤耐性機序の解明とその克服	鈴木利貴央	血液・腫瘍内科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
皮膚筋炎に併発する急速進行性間質性肺炎の病態解明と新規治療法開発の試み	佐藤 慎二	リウマチ内科学	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経障害性疼痛における活性化アストロサイト由来Dセリンの作用	伊藤 健二	麻酔科学	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
モルヒネ誘発性疼痛メカニズムの解明	松田 光正	麻酔科学	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
敗血症感染原因菌に対する抗体カクテル療法の確立と治療への応用	渡邊 伸央	救命救急医学	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性疼痛時における内因性ミューオピオイド受容体アロステリックモジュレーター的作用	姜 卓義	麻酔科学	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷に対するグルカゴン用ペプチド-1受容体作動薬の治療効果	加藤 裕幸	整形外科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎がん細胞のND1発現低下が細胞内ROSと転移増殖能へ与える影響の検討	金 伯士	泌尿器科学	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内膜症発症・内膜症性嚢胞癌化に関わる腔細菌叢のメタゲノム解析	信田 政子	産婦人科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
網羅的血清糖ペプチドビークと人工知能を用いた卵巣癌早期診断法の開発	池田 仁恵	産婦人科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高速走査型ピコ秒レーザーシステムの開発	河野 太郎	形成外科学	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
酪酸菌による体内脂肪再配分機構の解析	加川 建弘	消化器内科学	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

プロバイオティクスによるアスピリン小腸粘膜傷害改善の病態解明	鈴木 孝良	消化器内科学	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
イノシトール・ポリリン酸における神経変性疾患の病態生理機構の解明	永田栄一郎	神経内科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性血液腫瘍の中樞神経浸潤に対する新たな低侵襲性治療法の開発	川田 浩志	血液・腫瘍内科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
再生アソシエイト細胞静注による認知症治療法の開発	今関 良子	神経内科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新規核種95-Tcを用いた次世代医療用ガンマ線カメラの臨床仕様化へ向けた基礎開発	株木 重人	放射線治療科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胎児が制御する羊膜・絨毛膜の恒常性維持機構とその破綻	石本 人士	産婦人科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
重症僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁形成術の新規治療効果判定モデルの確立	大野 洋平	循環器内科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
病態ウサギにおける重粒子線の心房細胞抑制作用と電気生理学機序の解明	網野 真理	救命救急医学	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
気道内に粘液栓を形成するアレルギー性気管支肺真菌症モデル動物の開発	白石 良樹	呼吸器内科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
真菌関連アレルギー性気道疾患の原因真菌診断法確立	浅野浩一郎	呼吸器内科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小腸移植におけるNotchシグナルの免疫応答制御とメカニズムの解明	森 昌玄	小児外科学	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
麻酔と唾液分泌に関する研究	渡邊真理子	麻酔科学	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨格筋由来幹細胞を用いた脊髄損傷治療法の開発	小林 由香	整形外科科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
前庭性片頭痛の客観的評価、新規治療のためのバイオマーカーとドライバー遺伝子の探索	五島 史行	耳鼻咽喉科学	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新しい、糖尿病網膜症モデルの確立	鈴木 崇弘	眼科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒトiPS細胞由来肝細胞の極性形成誘導と薬物性肝障害モデルの構築	鶴谷 康太	消化器内科学	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
致死性心室不整脈患者に対する放射線体外照射による新規不整脈治療	吉岡公一郎	循環器内科学	2,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
真菌による難治性気道アレルギー疾患の発症機序の解明と治療開発	小熊 剛	呼吸器内科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急性腎障害が惹起する骨ミネラル代謝異常：疾患概念の確立と病態解明	駒場 大峰	腎・代謝内科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎臓病に伴う副甲状腺腫瘍化における機能性RNAの機能解析	金井 厳太	腎・代謝内科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
AGEsに着目した移植腎の非免疫学的予後規定因子に関する多面的臨床研究	中村 道郎	移植外科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
呼吸器外科手術への人工酸素運搬体ヘモアクトの応用	河野 光智	呼吸器外科学	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷2次障害に対するGLP-1受容体作動薬の有効性の検討	渡辺 雅彦	整形外科科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多施設研究によって耳下腺唾液腺導管癌の予後因子と治療標的を明らかにする	大上 研二	耳鼻咽喉科学	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔扁平上皮癌における患者腫瘍移植マウスモデルを用いた新規治療法の開発	山崎 浩史	口腔外科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵管癌におけるNec1-4の関連miRNAの解明と新規診断・治療への応用	川西 彩	消化器内科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
男女差から検討するたこぼ型心筋症の病態解明	村上 力	循環器内科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌における選択的スプライシングを介した発癌機構の解明	酒井 昭博	耳鼻咽喉科学	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

水素投与によるマウス未熟児網膜症の改善効果および血管内皮前駆細胞の動態の検討	中川 喜博	眼科学	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
造血幹細胞移植時に生じる口腔粘膜障害と口腔細菌叢の関係についての検討	高橋 美穂	口腔外科学	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Liquid biopsyは口腔扁平上皮癌で有効か？[NOTCHIに注目して]	内堀 雅博	口腔外科学	100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
体内リズム調節ホルモン解析によるオーラルフレイル予防法の開発	小嶋 玲奈	口腔外科学	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
発達早期の腸内細菌叢による認知特性への影響の解明	渡邊 己弦	精神科学	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗真菌薬溶出血管塞栓症の発症メカニズムの解明:肺アスペルギルス症に伴う喀血の新規治療戦略	山本 章太	画像診断学	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カテーテル難着性液体塞栓物質の新規開発:自己組織化ペプチド/アルギン酸ゲル	亀井 俊佑	画像診断学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
リンパ節転移に対するリンパ系インターベンション:直接リンパ管内化学療法の新規開発	富田 康介	画像診断学	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患における口腔内細菌叢由来の炎症誘導性細菌と細菌応答免疫細胞の同定	今井 仁	消化器内科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
傍糸球体装置で基質接着因子インテグリンのリン酸化が血圧調節に関与する機序の解析	近藤 真澄	腎・代謝内科学	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
閉経後骨粗鬆症が腎性骨症に及ぼす影響	田中 寿絵	腎・代謝内科学	300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎臓病におけるRNA結合タンパク質による炎症性mRNA制御機構の解析	都川 貴代	腎・代謝内科学	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
移植後特発性肺炎症候群の解明:アンジオテンシンゲンは予測因子、予防法になるか	原 隆二郎	血液・腫瘍内科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
難治性尿路上皮癌に対するフェロトーシス誘導による新規治療戦略	長谷川政徳	泌尿器科学	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア蛋白MGARPが関わるステロイドホルモン産生細胞の恒常性維持機構	西島 義博	産婦人科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
母体免疫異常に起因する流産とPZPの関連性の解明	柏木 寛史	産婦人科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔扁平上皮癌網羅的遺伝子解析に基づく免疫チェックポイント阻害薬感受性の評価	大澤 侑子	口腔外科学	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮頸部腺癌における個別化医療の探索	町田 弘子	産婦人科学	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
潰瘍性大腸炎・病態型と腸内細菌叢、T細胞機能バランスおよびHLA型の関連解析	金子 元基	消化器内科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
長期生存膀胱癌における特異的microRNAと標的分子の解明	森町 将司	消化器内科学	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
下肢動脈の末梢閉塞性動脈疾患に対する血管内治療後の血管における病理学的検討	鳥居 翔	循環器内科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心筋梗塞後の心筋再生に寄与する患者背景因子と体細胞遺伝子の検討	棗田 誠	循環器内科学	200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
加熱式たばこ煙の肺上皮細胞に与える影響:加熱式たばこの有害性の啓蒙を目指して	大新田可菜	呼吸器内科学	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
代謝モジュレーションによる抗糸球体硬化療法の開発	小泉 賢洋	腎・代謝内科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ダラツムマブ耐性多発性骨髄腫細胞のトランスクリプトーム解析と治療標的の同定	扇屋 大輔	血液・腫瘍内科学	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性リンパ腫の遺伝子変異を標的とした新規治療法の開発	川井 英嗣	血液・腫瘍内科学	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
特発性炎症性筋疾患における新規自己抗体の検出および臨床応用	細野 祐司	リウマチ内科学	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫チェックポイント蛋白に着目した腎移植における新規免疫抑制療法の提案	富田 祐介	移植外科学	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

数値シミュレーションを用いた鼻副鼻腔通気に関する新規検査法の開拓	金田 将治	耳鼻咽喉科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
内的酸化ストレスに惹起される角膜内皮細胞減少の分子機構解明と予防	尾内 宏美	眼科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨格筋幹細胞由来サイトカインを用いた神経・血管網の再生	槇 大輔	耳鼻咽喉科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
炎症と骨形成のクロストーク機構の解明による顎骨癒合誘導法の開発	青木 淳也	口腔外科学	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高いX線視認性を有する肝臓がん治療用の新規薬剤徐放性マイクロビーズの創製	長谷部光泉	画像診断学	2,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Functional analysis of alpha-2-glycoprotein 1, zinc-binding (ZAG) on host immune response in breast cancer microenvironment.	花村 徹	乳腺・内分泌外科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄内脂肪細胞による造血再生障害メカニズムの解明	原田 介斗	血液・腫瘍内科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病マウスモデルにおいてPTHがエネルギー代謝と糖代謝に及ぼす影響	駒場 大峰	腎・代謝内科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
変形性膝関節症に対する同種細胞シート移植の臨床研究	佐藤 正人	整形外科学	32,500,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
関節軟骨再生治療の普及を加速するiPS細胞由来軟骨細胞シートの研究開発	佐藤 正人	整形外科学	27,300,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
膝窩動脈以下 (below-the-knee: BTK) の細径動脈硬化性病変に対する長期開存ステントシステムの開発	長谷部光泉	画像診断学	65,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
真菌関連アレルギー性気道疾患の発症・増悪予防を目指した体内・対外環境の評価と制御	浅野 浩一郎	呼吸器内科学	13,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

計93件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Masahisa Nozaki	医学部医学科外科学系麻酔科学	SQSTM1L341V variant that is linked to sporadic ALS exhibits impaired association with MAP1LC3 in cultured cells	eNeurologicalSci,202103	Original Article
2	Masashi Morimachi	医学部医学科内科学系消化器内科学	Low expression of DDX5 is associated with poor prognosis in patients with pancreatic ductal adenocarcinoma	Journal of Clinical Pathology,202010	Original Article
3	Yusuke Kondo	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	The significance of tyrosine kinase receptor B and brain-derived neurotrophic factor expression in salivary duct carcinoma.	Annals of Diagnostic Pathology,202102	Original Article
4	Takuho Okamura	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Stability of HER2 Status by Dual-color in Situ Hybridization Before and After Neoadjuvant Chemotherapy in Breast Cancer	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202012	Original Article
5	Tomoo Nagai	医学部医学科内科学系循環器内科学	Predictors for non-delayed discharge after transcatheter aortic valve replacement: utility of echocardiographic parameters	International Journal of Cardiovascular Imaging,202007	Original Article
6	Kazuya Anzai	医学部医学科内科学系消化器内科学	The impact of a heterozygous SLCO1B3 null variant on the indocyanine green retention test	Journal of pharmacology sciences,202010	Original Article
7	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Endoscopy-based Kyoto classification score of gastritis related to pathological topography of neutrophil activity	World J. Gastroenterol.,202009	Original Article
8	Jin Imai	医学部医学科内科学系消化器内科学	Inhibition of plasminogen activator inhibitor-1 attenuates against intestinal fibrosis in mice	Intestinal Res,202004	Original Article
9	Daisuke Toyama	医学部医学科総合診療学系小児科学	Successful treatment of pediatric refractory/rigorous AML with KIR-ligand mismatched cord blood transplantation after FLAG-IDA re-induction therapy with or without the GD regimen	Case Rep Hematol,202008	Original Article
10	Kosuke Akiyama	医学部医学科総合診療学系小児科学	Neurocognitive evaluation of Japanese childhood cancer survivors	Showa Univ J Med Sci,202006	Original Article
11	Nobuo Watanabe	医学部医学科総合診療学系救命救急医学	Podoplanin is indispensable for cell motility and plasmin-induced epithelial-to-mesenchymal transition-related gene expression in esophagus squamous carcinoma TE11A cells	Cancer Cell International,202006	Original Article
12	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Korean Society of Neurogastroenterology and Motility. 2019 Seoul Consensus on Esophageal Achalasia Guidelines.	J Neurogastroenterol Motil.,202004	Original Article
13	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Sugar Codes Conjugated Apatite: An Innovative Platform to Make a Strategic Breakthrough in Simultaneous Prophylaxis of GERD and Helicobacter pylori Infection.	Drug Des Devel Ther.,202006	Original Article
14	Shinya Goto	医学部医学科内科学系循環器内科学	Safety of antithrombotic therapy in East Asian patients	Internal and Emergency Medicine,202103	Original Article
15	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Magnesium Oxide in Constipation	Nutrients,202101	Original Article
16	Kaito Harada	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Comparison of immunosuppressant regimens in salvage cord blood transplantation for graft failure after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Bone Marrow Transplant. 2021;56:400-410.,202102	Original Article
17	Kaito Harada	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Comparison of the outcomes after haploidentical and cord blood salvage transplantations for graft failure following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Bone Marrow Transplant. 2020;55:1784-1795.,202009	Original Article
18	Atsuhiko Yagishita	医学部医学科内科学系循環器内科学	Transvenous excimer laser-assisted lead extraction of cardiac implantable electrical devices in the Japanese elderly population.	Journal of Cardiology,202004	Original Article
19	Shinya Goto	医学部医学科内科学系循環器内科学	Assessment of Outcomes Among Patients With Venous Thromboembolism With and Without Chronic Kidney Disease	JAMA Netw Open,202010	Original Article
20	Atushi Mizuma	医学部医学科内科学系神経内科学	Clinical perspectives on ischemic stroke	Experimental Neurology,202103	Original Article
21	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Precision Medicine Approaches to Prevent Gastric Cancer.	Gut Liver,202101	Original Article
22	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Questionnaire-Based Survey on Epidemiology of Functional Gastrointestinal Disorders and Current Status of Gastrointestinal Motility Testing in Asian Countries	Digestion,202012	Original Article
23	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Helicobacter pylori eradication improved the Kyoto classification score on endoscopy	JGH Open,202010	Original Article
24	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Clinical features of cardiac nodularity-like appearance induced by Helicobacter pylori infection	World J. Gastroenterol.,202009	Original Article
25	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Statements for conducting high-resolution manometry during the COVID-19 pandemic.	J Clin Biochem Nutr.,202008	Original Article
26	Atsuhiko Yagishita	医学部医学科内科学系循環器内科学	A prospective multi-center study of direct comparison of feasibility and safety of pulmonary vein isolation using the minimally interrupted ablation between second-generation cryoballoon and radiofrequency ablation of paroxysmal atrial fibrillation: J-ATF equinox.	Journal of Arrhythmia,202006	Original Article
27	Norihito Nakamura	医学部医学科内科学系循環器内科学	Formation of Calcified Nodule as a Cause of Early In-Stent Restenosis in Patients Undergoing Dialysis.	Journal of the American Heart Association,202009	Original Article
28	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Herbal medicines in functional dyspepsia-Untapped opportunities not without risks.	Neurogastroenterol Motil.,202011	Original Article
29	Fuminobu Yoshimachi	医学部医学科内科学系循環器内科学	Distal radial approach: a review on achieving a high success rate	Cardiovasc Interv Ther,202101	Original Article
30	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Long-Term Outcomes of Endoscopic Submucosal Dissection for Superficial Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Cancers (Basel),202010	Original Article
31	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Update on quinolone-containing rescue therapies for Helicobacter pylori infection	World J Gastroenterol,202004	Original Article
32	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Colonoscopy using back brace support belt: A randomized, prospective trial	JGH Open,202011	Original Article

33	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	PCR analysis and specific immunohistochemistry revealing a high prevalence of non-Helicobacter pylori Helicobacters in Helicobacter pylori-negative gastric disease patients in Japan: High susceptibility to an Hly eradication regimen.	Helicobacter.,202008	Original Article
34	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Treatment of Recurrent Clostridoides difficile Infection Using Fecal Microbiota Transplantation in Iranian Patients with Underlying Inflammatory Bowel Disease	J. Inflamm. Res.,202009	Original Article
35	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Adverse events associated with bidirectional endoscopy with midazolam and pethidine	J Clin. Biochem. Nutr.,202009	Original Article
36	Atsuhiko Yagishita	医学部医学科内科学系循環器内科学	A noble technique to release Pentaray entrapped in a mechanical mitral valve using ablation catheter.	Journal of American Collage of Cardiology; Clinical Electrophysiology,202011	Original Article
37	Keito Enokida	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Transudative Pleural Effusion Associated with Extramedullary Hematopoiesis	Internal medicine,202102	Original Article
38	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Real-life safety and efficacy of omalizumab in Japanese patients with severe allergic asthma who were subjected to dosing table revision or suspension: A post-marketing surveillance	Pulmonary pharmacology & therapeutics.,202010	Original Article
39	Yoshiki Shiraishi	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Diagnosis of pleural empyema/parapneumonic effusion by next-generation sequencing	Infectious Diseases,202103	Original Article
40	Sakurako Tajiri	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Analysis of drug release dynamics of the reservoir-type dry powder inhalers	Tokai J Clin Exp Med,202005	Original Article
41	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	New clinical diagnostic criteria for allergic bronchopulmonary aspergillosis/mycosis and its validation	The Journal of allergy and clinical immunology,202009	Original Article
42	Naokata Kutsuzawa	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Successful Treatment of a Patient with Lung Adenocarcinoma Harboring Compound EGFR Gene Mutations, G719X and S768I, with Afatinib	The Tokai journal of experimental and clinical medicine,202009	Original Article
43	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Adult-onset eosinophilic airway diseases	Allergy,202012	Original Article
44	Naoki Okada	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Repeated exacerbation by environmental exposure and spontaneous resolution of allergic bronchopulmonary mycosis	The journal of allergy and clinical immunology. In practice,202101	Original Article
45	Kota Tsuruya	医学部医学科内科学系消化器内科学	Case of hepatitis B virus reactivation after irinotecan therapy in which the patient remained negative for hepatitis B surface antigens throughout the clinical course	Hepatology Research,202102	Original Article
46	Hiroyuki Ito	医学部医学科内科学系消化器内科学	Eosinophilic Cholecystitis Associated with Eosinophilic Granulomatosis with Polyangiitis	Case Reports in Gastroenterology,202012	Original Article
47	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Prevalence of the pathobiont adherent-invasive Escherichia coli and inflammatory bowel disease: a systematic review and meta-analysis.	J. Gastroenterol. Hepatol.,202009	Original Article
48	Norisato Hashimoto	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Clonally Related Plasmablastic Lymphoma Simultaneously Occurring with Diffuse Large B-Cell Lymphoma	Case Reports in Hematology,202012	Original Article
49	Hiroataka Komaba	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	PGF23 and mortality among prevalent hemodialysis patients in the Japan Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study	Kidney International Reports,202008	Original Article
50	Yosuke Nakagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Metacarpal bone mineral density by radiographic absorptiometry predicts fracture risk in patients undergoing maintenance hemodialysis	Kidney International,202010	Original Article
51	Hidetugu Kawai	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Phase II study of E7777 in Japanese patients with relapsed/refractory peripheral and cutaneous T-cell lymphoma	Cancer Science.,202103	Original Article
52	Jun Tanaka	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Evaluating serum periostin levels in allergic bronchopulmonary aspergillosis	Allergy,202004	Original Article
53	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	A phase 2a Study of DP2-antagonist GB001 for asthma	The journal of allergy and clinical immunology. In practice,202004	Original Article
54	Rikio Suzuki	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Successful treatment of therapy-related acute promyelocytic leukemia with all-trans-retinoic acid following epirubicin for hepatocellular carcinoma and docetaxel and paclitaxel/methotrexate for lung carcinoma: a triple malignancy case	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202006	Original Article
55	Rikio Suzuki	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Anti-tumor activities of the new oral pan-RAF inhibitor, TAK-580, used as monotherapy or in combination with novel agents in multiple myeloma	Oncotarget,202011	Original Article
56	Sho Torii	医学部医学科内科学系循環器内科学	No Epicardial Fat, No Plaque Rupture.	Circ J,202004	Original Article
57	Tomoo Nagai	医学部医学科内科学系循環器内科学	Augmented left ventricular dyssynchrony by low-dose dobutamine stress suggested excellent cardiac resynchronization responses in low-flow low-gradient aortic stenosis.	European Heart Journal Cardiovascular Imaging,202004	Original Article
58	Yuji Ikari	医学部医学科内科学系循環器内科学	Antithrombotic Therapy in Patients With Prior Stroke/Transient Ischemic Attack and Acute Coronary Syndromes	Angiology,202004	Original Article
59	Shinya Goto	医学部医学科内科学系循環器内科学	Mechanism of Thrombus Formation in Regard to Diet	IntechOpen,202005	Original Article
60	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	The Impact of COVID-19 on Gastrointestinal Motility Testing in Asia and Europe	J. Clin. Med.,202010	Original Article
61	Yoshitaka Arase	医学部医学科内科学系消化器内科学	Efficacy and safety of 3-year denosumab therapy for osteoporosis in patients with autoimmune liver diseases	Hepatology,202004	Original Article
62	Yuji Ikari	医学部医学科内科学系循環器内科学	Outcome of Patients With Prior Stroke/Transient Ischemic Attack and Acute Coronary Syndromes	Angiology,202004	Original Article
63	Katsuyoshi Tomomatsu	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Effectiveness and Safety of Omalizumab in Patients with Allergic Bronchopulmonary Aspergillosis Complicated by Chronic Bacterial Infection in the Airways	International archives of allergy and immunology,202005	Original Article
64	Tsutomu Murakami	医学部医学科内科学系循環器内科学	Transcatheter intracardiac echocardiography-guided transcatheter aortic valve implantation	European Heart Journal,202004	Original Article
65	Shunji Hirose	医学部医学科内科学系消化器内科学	Nineteen-year prognosis in Japanese patients with biopsy-proven nonalcoholic fatty liver disease: Lean versus overweight patients.	PLoS One,202011	Original Article
66	Tomoaki Hama	医学部医学科内科学系循環器内科学	Impact of bedrest on cardiovascular events and complications associated with temporary pacemakers in patients waiting for permanent pacemaker implantation	Journal of Arrhythmia,202103	Original Article
67	Masaya Sano	医学部医学科内科学系消化器内科学	Increase in the Lipopolysaccharide Activity and Accumulation of Gram-Negative Bacteria in the Stomach With Low Acidity	Clinical and Translational Gastroenterology.,202007	Original Article
68	Katsuyoshi Tomomatsu	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Rapid clearance of meropenem-resistant bronchial mucus plugs in allergic bronchopulmonary aspergillosis with benralizumab treatment	Allergology international,202004	Original Article
69	Yuji Ikari	医学部医学科内科学系循環器内科学	Differences in routes of guiding catheters for left coronary artery according to access sites assessed by the combined angiography-computed tomography system	Cardiovasc Interv Ther,202006	Original Article
70	Naoki Hayama	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Cytokine/chemokine/growth factor levels in malignant pleural effusion of non-small cell lung cancer.	The Tokai journal of experimental and clinical medicine.,202012	Original Article

71	Hitomi Horinouchi	医学部医学科内科学系循環器内科学	A growing left ventricular aneurysm after myocardial infarction: pathological confirmation of subpericardial aneurysm	Journal of Medical Ultrasonics,202101	Original Article
72	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Pancreaticoduodenectomy after neoadjuvant chemotherapy for gastric cancer invading the pancreatic head: A case report	World J Gastroenterol,202102	Original Article
73	Toshihiko Watanabe	医学部医学科外科学系小児外科学	Efficacy and safety of sclerotherapy with polidocanol in children with internal hemorrhoids	Pediatr Int,202010	Original Article
74	Eri Tei	医学部医学科外科学系小児外科学	Incidentally Detected Microcarcinoma of Thyroid in Surgical Specimens of the Gutter in Pediatric Patient: A Case Report	Tokai J Exp Clin Med.,202009	Original Article
75	Hideki Atsumi	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Pacing of Preoperative Magnetic Resonance and Intraoperative O-arm Images in Deep Brain Stimulation Enhance Intraoperative Surgical Planning and Increase Accuracy of Lead Placement	Neurologia medico-chirurgica,202103	Original Article
76	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Progress in multimodal treatment for advanced esophageal squamous cell carcinoma: Results of multimodal trials conducted in Japan	Cancers,202101	Original Article
77	Takeshi Suzuki	医学部医学科外科学系麻酔科学	C-arm fluoroscopy for tracheal intubation in a patient with severe cervical spine pathology	Saudi J Anaesth,202009	Original Article
78	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Association between indocyanine green fluorescence blood flow speed in the gastric conduit wall and superior mesenteric artery calcification: predictive significance for anastomotic leakage after esophagectomy	Esophagus,202103	Original Article
79	Hiroshi Miyakita	医学部医学科外科学系消化器外科学	Tumor-Infiltrating Lymphocytes in Biopsy Specimens Obtained 7 Days after Starting Chemoradiotherapy for Rectal Cancer Are Predictors of the Response to Chemoradiotherapy	Oncology,202008	Original Article
80	Takeshi Suzuki	医学部医学科外科学系麻酔科学	Prevention of oxygen desaturation in morbidly obese patients during electroconvulsive therapy: A narrative review	J ECT,202009	Original Article
81	Taro Kono	医学部医学科外科学系形成外科学	Prospective comparison study of 532/1064 nm picosecond laser vs 532/1064 nm nanosecond laser in the treatment of professional tattoos in Asians	Laser Therapy,202012	Original Article
82	Takeshi Imai	医学部医学科外科学系整形外科	Robinstein-Taybi syndrome with scoliosis treated with single-stage posterior spinal fusion: illustrative case	Journal of Neurosurgery Case Lessons,202103	Original Article
83	Junko Ajimi	医学部医学科外科学系麻酔科学	Successful tracheal intubation in a patient with a large epiglottic cyst using the MedAn video laryngoscope with Nishikawa blade	Journal of Clinical Anesthesia,202103	Original Article
84	Junko Ajimi	医学部医学科外科学系麻酔科学	Clear plastic bags effectively limit aerosolization and droplet spray during extubation in the era of COVID-19	Journal of Clinical Anesthesia,202103	Original Article
85	Tadashi Higuchi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Giant circumferential esophageal leiomyoma successfully treated by thorascopic emulectomy with the patient in a prone position: A case report	Asian J Endosc Surg,202012	Original Article
86	Taku Ukai	医学部医学科外科学系整形外科	Evaluation of muscle volume and degeneration after total hip arthroplasty: a comparison of the posterolateral approach and the anterolateral supine approach	Journal of Orthopaedic Surgery and Research,202102	Original Article
87	Yamato Ninomiya	医学部医学科外科学系消化器外科学	Three resected cases of esophageal carcinoma considered as being secondary solid tumors after bone marrow transplantation	Surgical Case Reports,202103	Original Article
88	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Distal gastric tube resection with vascular preservation for gastric tube cancer: A case report and review of literature	World J Gastrointest Surg,202012	Original Article
89	Toshihiko Watanabe	医学部医学科外科学系小児外科学	Intraluminal manipulator-assisted laparoscopic surgery for Hirschsprung disease	Journal of Pediatric Surgery Case Reports,202008	Original Article
90	Daichi Takizawa	医学部医学科外科学系整形外科	Regenerative effects of human chondrocyte sheets in xenogeneic transplantation model using immune-deficient rats	Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine,202007	Original Article
91	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科	Short-term comparison of preoperative and postoperative pain after indirect decompression surgery and direct decompression surgery in patients with degenerative spondylolisthesis	Scientific Reports,202011	Original Article
92	Taku Ukai	医学部医学科外科学系整形外科	Retrospective analysis of risk factors for deep infection in lower limb Gustilo-Anderson type III fractures	Journal of Orthopaedics and Traumatology,202007	Original Article
93	Shuji Uda	医学部医学科外科学系消化器外科学	Pelvic local recurrence as first relapse predicts prognosis for clinical stage I/II lower rectal cancer: A clinicopathological investigation	Molecular and Clinical Oncology,202101	Original Article
94	Hakushi Kim	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Transluminal laparoendoscopic single-site surgery versus conventional laparoscopic surgery for patients with symptomatic urachal remnants: an experience with 57 patients	International Urology and Nephrology,202101	Original Article
95	Kosuke Hamahashi	医学部医学科外科学系整形外科	Clinical Features and Outcomes of Bilateral Atypical Femoral Fractures	Case Reports in Orthopedics,202007	Original Article
96	Taku Ukai	医学部医学科外科学系整形外科	Comparison of short-term outcomes of anterolateral supine approach and posterolateral approach for primary total hip arthroplasty: a retrospective study	Journal of Orthopaedics and Traumatology,202102	Original Article
97	Kosuke Hamahashi	医学部医学科外科学系整形外科	Total Knee Arthroplasty Is Superior to Open Wedge High Tibial Osteotomy in Terms of Pain Relief for Patients With Osteoarthritis	Arthroplasty Today,202102	Original Article
98	Sunao Shoji	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Pre-clinical outcome of transurethral thulium laser enucleation versus bipolar transurethral resection for benign prostatic hyperplasia over a period of 12 months: A prospective randomized study	International Journal of Urology,202011	Original Article
99	Hiroyuki Katoh	医学部医学科外科学系整形外科	The Association of Scoliosis and NSD1 Gene Deletion in Sotos Syndrome Patients	Spine (Phila Pa 1976),202012	Original Article
100	Taro Mashiko	医学部医学科外科学系消化器外科学	Adult ileo-ileal intussusception due to inflammatory fibroid polyp: a case report	the Tokai Journal of Clinical and Experimental Medicine,202012	Original Article
101	Eiji Nomura	医学部医学科外科学系消化器外科学	Neoadjuvant chemoradiotherapy for locally advanced gastric cancer with bulky lymph node metastasis: Five case reports.	World Journal of Clinical Cases,202009	Original Article
102	Banri Tsuda	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Students' Input on Preparing a Weekly Calendar of Individual Students in the Breast Surgery Clinical Clerkship	the Tokai journal of experimental and clinical medicine,202008	Original Article
103	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Surgical benefits of prone position thorascopic esophagectomy over open thoracic and thorascopic esophagectomy in left lateral decubitus position: A literature review	Journal of Surgical Oncology,202004	Original Article
104	Ryo Hashimoto	医学部医学科外科学系呼吸器外科学	Immediate effects of systemic administration of normal and high O2-affinity haemoglobin vesicles as a transfusion alternative in a rat pneumonectomy model	BMJ Open Respiratory Research,202006	Original Article
105	Banri Tsuda	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Myxofibrosarcoma that Developed Rapidly in the Breast of an Elderly Man and Recurred Early after Surgery: A Case Report	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202006	Original Article
106	Banri Tsuda	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	A Case of Unknown Primary Cancer with a Tumor Formed in the Retroperitoneum: A Case Report	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202006	Original Article
107	Sunao Shoji	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Current status and future prospective of focal therapy for localized prostate cancer: development of multiparametric MRI, MR-TRE S fusion image-guided biopsy, and treatment modalities	International Journal of Clinical Oncology,202004	Original Article
108	Taro Mashiko	医学部医学科外科学系消化器外科学	Intussusception due to hepatogenous metastasis of hepatocellular carcinoma to the small intestine : A case report	World Journal of Gastroenterology,202011	Original Article

109	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科科学	Facet Joint Violation After Single-Position Versus Dual-Position Lateral Interbody Fusion and Percutaneous Pedicle Screw Fixation: A Comparison of Two Techniques	Journal of Clinical Neuroscience,202006	Original Article
110	Hitoshi Hara	医学部医学科外科学系消化器外科学	Prognostic significance of vasohibin-1 and vasohibin-2 immunohistochemical expression in gastric cancer	Surgery Today,202006	Original Article
111	Sunao Shoji	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Focal therapy with HIFU for the localized prostate cancer for Asian based on the localization with MRI-TRUS fusion image-guided transperineal biopsy and 12-core transperineal systematic biopsy: prospective analysis of oncological and functional outcomes	International Journal of Clinical Oncology,202010	Original Article
112	Hideshi Miyakita	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Guidelines for the medical management of pediatric vesicoureteral reflux	INTERNATIONAL JOURNAL OF UROLOGY,202004	Original Article
113	Hiroyuki Katoh	医学部医学科外科学系整形外科科学	A Combination of Magnetic Resonance Imaging Techniques to Localize the Dural Defect in a Case of Superficial Siderosis - A Case Report	Medicines,202006	Original Article
114	Sunao Shoji	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Editorial Comment from Dr Shoji to Focal bipolar radiofrequency ablation for localized prostate cancer: Safety and feasibility	International Journal of Urology,202010	Original Article
115	Eiji Nomura	医学部医学科外科学系消化器外科学	Preventive procedure for stenosis after esophagectomy using a circular stapler and transversely inserted esod (OVITM) following laparoscopic proximal gastrectomy and total gastrectomy involving reduction of anastomotic tension	BMC Surgery,202101	Original Article
116	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科科学	Cluster analysis to predict factors associated with sufficient indirect decompression immediately after single-level lateral lumbar interbody fusion	J Clinical Neuroscience,202011	Original Article
117	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科科学	A New Technique that Combines Navigation-Assisted Lateral Interbody Fusion and Percutaneous Placement of Pedicle Screws in the Lateral Decubitus Position with the Surgeon Using Wearable Smart Glasses: A Small Case Series and Technical Note	World Neurosurgery,202011	Original Article
118	Masahiro Uchibori	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	Analysis of HRAS mutations in Japanese patients with oral squamous cell carcinoma.	Advances in Oral and Maxillofacial Surgery,202103	Original Article
119	Masae Ikeda	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	The trend and outcome of postoperative therapy for high-risk early-stage cervical cancer with lymph node metastasis in Japan: a report from the Japan Society of Gynecologic Oncology (JGO) guidelines evaluation committee	Journal of Gynecologic Oncology,202101	Original Article
120	Michio Tokuyama	医学部医学科専門診療学系皮膚科学	New Treatment Addressing the Pathogenesis of psoriasis	※Web掲載,202010	Original Article
121	Hiroko Machida	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Surgical approach in early stage cervical cancer: the Asian view point	Eur. J. Gynaecol. Oncol.,202102	Original Article
122	Rie Nakajima	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Acquired Factor XI Deficiency with Lupus Anticoagulant in a Pregnant Woman Diagnosed by the Eruptions and Pain in Fingers	Case Reports in Obstetrics and Gynecology,202012	Original Article
123	Takahiro Suzuki	医学部医学科専門診療学系眼科学	Anti-VEGF Therapy and Retinal Photocoagulation to Prevent Recurrence of Central Retinal Vein Occlusion: Two Case Reports of Young Patients	THE TOKAI JOURNAL of EXPERIMENTAL and CLINICAL MEDICINE,202012	Original Article
124	Daisuke Maki	医学部医学科専門診療学系耳鼻咽喉科学	Peripheral Nerve Regeneration Using a Cytokine Cocktail Secreted by Skeletal Muscle-Derived Stem Cells in a Mouse Model	Journal of Clinical Medicine,202102	Original Article
125	Tamaki Ichikawa	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Persistent left superior vena cava with absent right superior vena cava in adults: CT and clinical findings	Japanese Journal of Radiology,202011	Original Article
126	Takahiro Suzuki	医学部医学科専門診療学系眼科学	Impaired Autophagy in Retinal Pigment Epithelial Cells Induced from IPS Cell of Distal Myopathy with Rimmed Vacuole Patient	THE TOKAI JOURNAL of EXPERIMENTAL and CLINICAL MEDICINE,202012	Original Article
127	Hisashi Kato	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	A Case of Osteomyelitis of the Mandibular Condyle Secondary to Bisphosphonate-related Osteonecrosis of the Jaw	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202009	Original Article
128	Akio Kondoh	医学部医学科専門診療学系皮膚科学	Two Atypical Cases of Tick Bites: A Fully Engorged Tick and Multiple Ticks	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202012	Original Article
129	Yuki Takahashi	医学部医学科専門診療学系緩和医療学	Suicide Leap of an 11-Year-Old Girl with Autism Spectrum Disorder	Global Pediatric Health,202009	Original Article
130	Michio Tokuyama	医学部医学科専門診療学系皮膚科学	Biological Retention Rates, the Reasons of Switching and Prognostic Factors in patients with Psoriasis Treated Biologics	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202012	Original Article
131	Motoki Sekine	医学部医学科専門診療学系耳鼻咽喉科学	Fish tank granuloma presenting as a nasal cavity mass	Case Reports in Immunology,202101	Original Article
132	Kosuke Tomita	医学部医学科専門診療学系画像診断学	CT Fluoroscopy-guided percutaneous intervertebral drain insertion for cervical pyogenic spondylodiscitis	Diagnostic and Interventional Radiology,202005	Original Article
133	Takayuki Aoki	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	Osteosarcoma arising from the mandibular fossa of the temporal bone misdiagnosed as temporomandibular joint disorder: Case report	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology,202103	Original Article
134	Kazunari Karakida	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	Pyogenic spondylitis with rapid bone destruction after chemoradiotherapy for tongue cancer: A case report and literature review.	The Tokai journal of experimental and clinical medicine,202012	Original Article
135	Yuki Takahashi	医学部医学科専門診療学系緩和医療学	Reconsideration of Periodic Psychosis of Adolescence	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202004	Original Article
136	Tatsuya Nogami	医学部医学科専門診療学系漢方医学	Title of the article: Recovery of Oral Feeding in Japanese Elderly People after Long-Term Tube Feeding: A Challenge in Miyama Hospital	journal of family medicine and primary care,202007	Original Article
137	Kazunari Karakida	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	Subcutaneous migration of a broken dental needle from the mandibular gingiva to the neck: a case report	THE TOKAI JOURNAL of EXPERIMENTAL and CLINICAL MEDICINE,202009	Original Article
138	Tetsuji Iida	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Small Cell Neuroendocrine Carcinoma of the Endometrium with Difficulty Identifying the Original Site in the Uterus	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202012	Original Article
139	Tatsuya Nogami	医学部医学科専門診療学系漢方医学	A comparative study of simulation-based and lecture-based learning in traditional Japanese (Kampo) medical education.	International Medical Journal,202006	Original Article
140	Tamaki Ichikawa	医学部医学科専門診療学系画像診断学	A case of intrahepatic splenosis: usefulness of splenic scintigraphy	Abdominal Radiology,202006	Original Article
141	Toshinari Muramatsu	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	A Case of Cervical Adenocarcinoma in Which Initial Total Laparoscopic Hysterectomy Was Performed for Suspected Atypical Endometrial Hyperplasia	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202004	Original Article
142	Kazunari Karakida	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	Clear cell carcinoma of the hard palate in an adolescent patient: A case report	THE TOKAI JOURNAL of EXPERIMENTAL and CLINICAL MEDICINE,202009	Original Article
143	Kanako Mitsuzuka	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Monochorionic Diamniotic Twin Pregnancy: a Retrospective Study on Twin-Twin Transfusion Syndrome and Related Disorders	Tokai J Exp Clin Med,202007	Original Article
144	Kazunari Karakida	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	A case of long-standing temporomandibular joint dislocation: Restoration of oral function following condylectomy	THE TOKAI JOURNAL of EXPERIMENTAL and CLINICAL MEDICINE,202009	Original Article
145	Atsushi Uchiyama	医学部医学科総合診療学系小児科学	A window of hope: Cell therapy using neural stem cells for neonatal brain injury.	Pediatrics International,202101	Original Article
146	Katsunaka Mikami	医学部医学科総合診療学系精神科学	Effective Tools to Predict Depression in Acute and Subacute Phase of Ischemic Stroke	The Journal of Neuropsychiatry and Clinical Neurosciences,202101	Original Article

147	Atsushi Uchiyama	医学部医学科総合診療学系小児科学	Randomized Controlled Trial of High-Flow Nasal Cannula in Preterm Infants After Extubation.	Pediatrics,202009	Original Article
148	Yuichi Onishi	医学部医学科総合診療学系精神科学	Second-generation antipsychotic medications for children and adolescents	Journal of Nippon Medical School,202102	Original Article
149	Kenji Yamamoto	医学部医学科総合診療学系精神科学	Taking Social Support Into Account Regarding the Mental Health of Health Care Practitioners Involved in Treating Patients With COVID-19	Psychosomatics,202006	Original Article
150	Kengo Moriyama	医学部医学科総合診療学系健康管理学	Associations between the triglyceride to high-density lipoprotein cholesterol ratio and metabolic syndrome, insulin resistance, and lifestyle habits in healthy Japanese.	Metabolic Syndrome and Related Disorders,202006	Original Article
151	Megumi Shimada	医学部医学科総合診療学系総合内科学	Heart rate reduction during favipiravir therapy for hospitalized COVID-19 patients: experience from 6 cases	Journal of Hospital General Medicine,202101	Original Article
152	Chizumi Yamada	医学部医学科総合診療学系健康管理学	Relationship between Serum Antioxidative Vitamin Concentrations and Type 2 Diabetes in Japanese Subjects	J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo),202008	Original Article
153	Chizumi Yamada	医学部医学科総合診療学系健康管理学	A prediction study for incidence rate of diabetes through 2-years health checkup data.	Health Evaluation and Promotion,202007	Original Article
154	Koji Miyazaki	医学部医学科総合診療学系総合内科学	Neurohormonal and metabolic profile of heart failure in obese versus non-obese patients	Vascular Failure,202012	Original Article
155	Shinichi Matsuda	医学部医学科総合診療学系小児科学	Jervell and Lange-Nielsen syndrome with novel KCNQ1 and additional gene mutations	Human Genome Variation,202010	Original Article
156	Kengo Moriyama	医学部医学科総合診療学系健康管理学	Oleic to stearic acid ratio might be a potential marker for insulin resistance in non-obese Japanese.	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition,202103	Original Article
157	Mari Amino	医学部医学科総合診療学系救命救急医学	Analysis of depolarization abnormality and autonomic nerve function after stereotactic body radiation therapy for ventricular tachycardia in a patient with old myocardial infarction	Heart rhythm case report,202103	Original Article
158	Tomoatsu Tsuji	医学部医学科総合診療学系救命救急医学	Serum potassium level as a biomarker for acute caffeine poisoning	Acute Medicine & Surgery,202009	Original Article
159	Mari Amino	医学部医学科総合診療学系救命救急医学	Should beta-blockers be continued as a treatment for myocardial infarction in the case of Kounis syndrome?	Annals of Noninvasive Electrophysiology,202103	Original Article
160	Atsushi Yasuda	医学部医学科内科学系内分泌内科学	A case of insulinoma effectively treated with low-dose diazoxide	Clinical Case Reports,202006	Original Article
161	Hiroyuki Otsuka	医学部医学科総合診療学系救命救急医学	Indications for early plasma administration and its optimal use following trauma	Acute Medicine & Surgery,202011	Original Article
162	Shinichi Matsuda	医学部医学科総合診療学系小児科学	Differences in virus detection and cytokine profiles between first wheeze and childhood asthma	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202004	Original Article
163	Kengo Moriyama	医学部医学科総合診療学系健康管理学	Association between triglyceride to high-density lipoprotein cholesterol ratio and low-density lipoprotein subclasses.	Internal Medicine,202011	Original Article
164	Koji Miyazaki	医学部医学科総合診療学系総合内科学	Decreased arginine bioavailability in patients with coronary artery disease in an outpatient setting	Vascular Failure,202005	Original Article
165	Koji Miyazaki	医学部医学科総合診療学系総合内科学	Development of Pulmonary Edema Despite Negative Fluid Balance with Diuretics in a Patient with Heart Failure and Sigmoid Septum.	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,202004	Original Article
166	Hiroyuki Otsuka	医学部医学科総合診療学系救命救急医学	Impact of a streamlined trauma management approach and determinants of mortality among hemodynamically unstable patients with severe multiple injuries: A before-and-after retrospective cohort study	Trauma Surgery & Acute Care Open,202008	Original Article
167	Tooru Ishihara	医学部医学科総合診療学系総合内科学	Ecthyma gangrenosum mimicking cellulitis	Clinical Case Reports - Wiley Online Library,202101	Original Article
168	Shinji Takashimizu	医学部医学科総合診療学系健康管理学	Current Status and Issues with Cancer Examination	Health evaluation and Promotion,202007	Original Article

計168件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report

3					
～					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 東海大学医学部「人を対象とする医学系研究」に関する実施手順について、申請区分、申請書類、審査、実施許可などの標準業務手順を記載している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	定例年 1 2 回、迅速年 2 4 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 ・ 学校法人東海大学利益相反に関する規定 ・ 学校法人利益相反ポリシー、東海大学伊勢原校舎利益相反マネジメント委員会規程	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 0 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 一般財団法人公正研究推進協会 (APRIN) が提供する APRINe ラーニングにより実施している。	

--

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各研修領域の研修プログラムに沿い、到達目標の達成を目指し、専門医取得に向けた臨床研修を実施。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	109	人
-------------	-----	---

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
小澤 秀樹	総合内科	教授	35年	
伊莉 裕二	循環器内科	教授	35年	
吉岡公一郎	循環器内科	教授	35年	
後藤 信哉	循環器内科	教授	35年	
浅野浩一郎	呼吸器内科	教授	36年	
松嶋 成志	消化器内科	教授	36年	
加川 建弘	消化器内科	教授	34年	
鈴木 秀和	消化器内科	教授	32年	
安藤 潔	血液腫瘍内科	教授	38年	
川田 浩志	血液腫瘍内科	教授	32年	
小川 吉明	血液腫瘍内科	教授	31年	
瀧澤 俊也	神経内科	教授	40年	
永田栄一郎	神経内科	教授	32年	
深川 雅史	腎内分泌代謝内科	教授	38年	
佐藤 慎二	リウマチ内科	教授	28年	
山本聖一郎	消化器外科	教授	30年	
長 泰則	心臓血管外科	教授	31年	
岩崎 正之	呼吸器外科	教授	37年	
渡辺 稔彦	小児外科	教授	25年	
新倉 直樹	乳腺内分泌外科	教授	19年	
中村 道郎	移植外科	教授	34年	
青木 弘道	救命救急科	講師	18年	
松前 光紀	脳神経外科	教授	39年	
張 漢秀	脳神経外科	教授	38年	
反町 隆俊	脳神経外科	教授	36年	
渡辺 雅彦	整形外科	教授	34年	
佐藤 正人	整形外科	教授	30年	

赤松 正	形成外科	教授	31年	
宮嶋 哲	泌尿器科	教授	31年	
西山 純一	麻酔科	教授	32年	
鈴木 武志	麻酔科	教授	23年	
中川 儀英	救命救急科	教授	34年	
守田 誠司	救命救急科	教授	22年	
太田 嘉英	歯科口腔外科	教授	36年	
望月 博之	小児科	教授	40年	
内山 温	小児科	教授	31年	
三上 幹男	産婦人科	教授	37年	
石本 人士	産婦人科	教授	34年	
山本 賢司	精神科	教授	31年	
松本 英夫	精神科	教授	38年	
馬淵 智生	皮膚科	教授	22年	
大上 研二	耳鼻咽喉科	教授	35年	
濱田 昌史	耳鼻咽喉科	教授	32年	
鈴木 康之	眼科	教授	35年	
正門 由久	リハビリテーション科	教授	39年	
橋本 順	画像診断科	教授	33年	
丹羽 徹	画像診断科	教授	26年	
菅原 章友	放射線治療科	教授	24年	
中村 直哉	病理診断科	教授	36年	
宮地 勇人	臨床検査科	教授	39年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
【認定静脈注射看護師講習会】 ・研修の主な内容 静脈注射を単独で施行できる看護師の育成 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数 1回目：2020年 8月15日（44名） 2回目：2020年 9月 5日（42名）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数 【医療チームを動かすリーダーシップ研修】 組織におけるリーダーの役割を学ぶ。現場の業務に潜在している危険を予測する能力を高める 2020年10月16日（64名） ※Web開催 【看護単位責任者就任時研修】 2021年 3月25日（2名） 【主任就任時研修】 ・研修の主な内容 主任としての役割と責任（看護単位責任者の補佐・代行業務）について学ぶ

・研修の期間・実施回数・参加人数

2020年5月12日・13日（2名）

【副主任就任時研修】

・研修の主な内容

副主任の役割と責任、看護管理に求められる基本的な知識・技術・役割について学ぶ

・研修の期間・実施回数・参加人数

2020年 5月26日（6名）

【看護単位責任者研修（リフレッシュ研修）】

・研修の主な内容

看護単位責任者としての役割や業務遂行に必要な能力開発

・研修の期間・実施回数・参加人数

2020年度 実施なし

【主任研修（リフレッシュ研修）】

・研修の主な内容

主任としての役割や業務遂行に必要な能力開発

・研修の期間・実施回数・参加人数

2020年度 実施なし

【副主任研修（リフレッシュ研修）】

・研修の主な内容

副主任としての役割や業務遂行に必要な能力開発

・研修の期間・実施回数・参加人数

2020年11月24日・25日（80名）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

2020年 4月18日（土）： 転倒・転落予防 ※不可

2020年 6月26日（金）： ドレーン管理 ※不可

2020年 5月12日（火）： 創傷管理 ※不可

2020年10月22日（木）： 輸血療法（0名）

2020年 9月18日（金）： 周術期看護（3名）

2020年11月 6日（金）： 摂食・嚥下障害の看護と訓練技術（基礎）（1名）

2021年 1月15日（金）： 心電図の理解と不整脈の見方 ※中止

2020年12月 4日（金）： 呼吸理学療法（1名）

2020年 7月18日（土）

～19日（日）： 緊急度判断（JTAS/トリアージ）・臨床推論コース ※中止

2020年10月17日（土）

～18日（日）： 緊急度判断（JTAS/トリアージ）・臨床推論コース（2日間7名）

2021年 1月30日（土）

～31日（日）： 緊急度判断（JTAS/トリアージ）・臨床推論コース ※中止

2020年 6月20日（土）： 患者急変対応・気づきコース ※中止

2020年10月 3日（土）： 患者急変対応・気づきコース（1名）

2021年 2月20日（土）： 患者急変対応・気づきコース ※中止

2020年 6月19日（土）： 気づきインストラクターコース（3名）

2020年 6月14日（土）： ICLSコース ※中止

2020年 6月13日（日）： ICLSコース（5名）

2021年 1月17日（日）： ICLSコース ※中止

2021年 3月14日（日）： ICLSコース ※中止

2020年11月27日（金）： 造血細胞移植分科会 ※WEB 開催

2020年12月18日（金）： 造血細胞移植分科会 ※WEB 開催

2020年度 実施無し

【臨時研修（医療メディエーション研修）】

・研修の主な内容

看護管理者に必要な医療メディエーション手法を学ぶ

・研修の期間・実施回数・参加人数

2020年 2月20日（木）（54名）

（注）1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

（注）2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

2020年度 病院職員研修スケジュール表

研修会名	日程	研修会内容	主観部署	分類
他院臨床研修医 病院情報システム操作講習会	毎月(適時月初)	他院の研修医で、ローテートの一環で当院にて研修を行う臨床研修医向けの電子カルテシステム操作講習	臨床研修部	システム操作講習
ドクターヘリ医療要員講習会	毎月	運用システム、航空機体搬送の生理学、ヘリ搭乗に必要な基礎知識	神奈川県ドクターヘリ運航調整委員会	その他
診療情報管理士スタートアップセミナー	7月16日	ICDコーディングの導入編・基礎講習	病院事務部診療情報管理課	事務関連
診療情報管理士スタートアップセミナー	8月13日	ICDコーディングの導入編・基礎講習	病院事務部診療情報管理課	事務関連
医療安全・感染防止セミナー ★	8月	医療法改正・特定機能病院要件の周知	医療監査部	医療安全・感染防止セミナー
中央手術室新人外回り看護師向け講義	8月	中央手術室における医薬品の管理・運用	薬剤部薬剤科	医療安全
クリニカルクラークシップ病院情報システム操作講習会	8月下旬(6回)	医学部4年次制向けの臨床実習生電子カルテの操作講習	教学課	システム操作講習
診療情報管理士スタートアップセミナー	9月17日	ICDコーディングの導入編・基礎講習	病院事務部診療情報管理課	事務関連
接遇向上研修会	9月	接遇向上について	医事課	事務関連
保険医療講習会 ★	9月	保険診療の理解を深める	診療部、医事課	診療
診療情報管理士スタートアップセミナー	10月15日	ICDコーディングの導入編・基礎講習	病院事務部診療情報管理課	事務関連
付属4病院診療情報管理士勉強会	10月21日	ICDコーディング演習、技術向上、診療情報管理業務の標準化、統一化	病院事務部診療情報管理課	事務関連
付属4病院診療情報管理士勉強会	12月23日	ICDコーディング演習、技術向上、診療情報管理業務の標準化、統一化	病院事務部診療情報管理課	事務関連
診療情報管理士スタートアップセミナー	11月12日	ICDコーディングの導入編・基礎講習	病院事務部診療情報管理課	事務関連
緩和ケア研修会	11月29日	緩和ケアについて	緩和ケア科	診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(6A・MFICU病棟)	11月	6階病棟における重点管理薬品の管理	薬剤部薬剤科	医療安全
付属4病院診療情報管理士勉強会	2月24日	ICDコーディング演習、技術向上、診療情報管理業務の標準化、統一化	病院事務部診療情報管理課	事務関連
保険医療講習会 ★	2月	保険診療の理解を深める	診療部、医事課	法令
新任・中途採用・異動医師 病院情報システム操作講習会	3月下旬(2日間)	新任・中途採用・異動・出向戻り医師向けの電子カルテシステム操作講習	伊勢原情報システム課	システム操作講習
医療安全・感染防止セミナー ★	3月	個人情報の取り扱いについて	個人情報保護委員会	医療安全・感染防止セミナー
開催予定				
医療安全・感染防止セミナー2回以降	未定	未定	医療監査部	医療安全・感染防止セミナー
防災訓練(法定) ★	未定	火災発生時の初期対応、避難行動	5号館防災対策委員会	防災
院内災害対応訓練	未定	地震発生時の初期対応、災害対策本部の設置、運営	DMAT運営委員会・小委員会	防災
災害時の事務要員を対象とした勉強会	未定	災害対策本部など災害時臨時部門で活動するにあたっての講義実習	DMAT運営委員会・小委員会	防災
野外調理訓練	未定	配給に必要な物品の確認、水の確保と使用量の把握	DMAT運営委員会・小委員会、栄養管理委員会	防災
脳死判定シミュレーション	未定	マニュアルに沿った判定手順の確認	脳死判定委員会	診療
護身術教室	未定	防犯対策への意識向上および基本的な護身術の習得	伊勢原総務課・渉外対策室	その他
開催終了				
ドクターヘリ医療要員講習会(リカレント)	年度初めに随時対応	ドクターヘリ搭乗に伴う技能維持、知識のブラッシュアップ	神奈川県ドクターヘリ運航調整委員会	その他
臨床助手 病院情報システム操作講習会	4月	新任臨床助手向けの電子カルテシステム操作講習	臨床研修部(からの要望に基づき実施)	システム操作講習
新任・中途採用・異動医師 病院情報システム操作講習会	4月	新任・中途採用・異動・出向戻り医師向けの電子カルテシステム操作講習	伊勢原情報システム課(診療各課へご案内)	システム操作講習
臨床研修医 病院情報システム操作講習会	4月	新任臨床研修医向けの電子カルテシステム操作講習	臨床研修部(からの要望に基づき実施)	システム操作講習
新人看護師の医薬品安全管理講義(7B病棟)	4月17日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(11F病棟)	4月17日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(12F病棟)	4月17日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(13F病棟)	4月17日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(14F病棟)	4月18日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(中央手術室)	4月18日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(6A・MFICU病棟)	4月20日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(6B・NICU病棟)	4月20日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療

新人看護師の医薬品安全管理講義(7A病棟)	4月20日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(8F病棟)	4月21日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(10F病棟)	4月22日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(救命救急センター)	4月23日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(9F病棟)	4月23日	医薬品安全管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療
病院情報システム操作講習会	5月	医学部／健康科学部看護学科の看護情報学という授業の中で、2グループに分け電子カルテシステム看護部分の操作講習	医学部／健康科学部看護学科	システム操作講習
臨床における撮影講習会	5月21日	臨床におけるカメラ写真撮影の講習、診療画像記録の取り扱いについて	病院事務部診療情報管理課	診療
新人看護師の医薬品安全管理講義(6A・MFICU病棟)	6月	6階病棟における重点管理薬品の管理	薬剤部薬剤科	医療安全、診療

★:医療法、診療報酬上、法定上規定されている研修

作成:病院職員研修管理委員会事務局(診療情報管理課)

最終更新日:2020.07.06

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2.) 現状
管理責任者氏名	八木 憲司 (病院事務部長)、小川 吉明 (情報システム部長)
管理担当者氏名	大島慎一郎 (伊勢原総務課長)、佐藤 梢 (診療情報管理課長)

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	伊勢原総務課 紙保管 (3年間)、データベース管理
		各科診療日誌	伊勢原総務課 紙保管 (3年間)
		処方せん	薬剤部 紙保管 (3年間)、データベース管理
		手術記録	診療情報管理課 システム課サーバ室 現物は診療情報管理課、電子情報はシステム課サーバ室管理
		看護記録	診療情報管理課 システム課サーバ室 現物の手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真 (画像データ)、紹介状、退院時要約、入院診療計画書の管理については、別紙参照
		検査所見記録	診療情報管理課 システム課サーバ室
		エックス線写真	診療情報管理課 システム課サーバ室
		紹介状	診療情報管理課 システム課サーバ室
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療情報管理課 システム課サーバ室
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	伊勢原人事課 データベース管理
		高度の医療の提供の実績	医事課 臨床研修部 伊勢原総務課 紙保管、データベース管理
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	キャンパスサポートオフィス (評価担当) メディカルサイエンスカレッジオフィス (研究支援担当) データベース管理
		高度の医療の研修の実績	臨床研修部 看護部 紙保管、データベース管理
		閲覧実績	伊勢原総務課、診療情報管理課 紙保管、データベース管理
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	伊勢原総務課 薬剤部 紙保管 (3年間)、データベース管理
	規則第一條の十一に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策課 紙保管及びデータベース管理
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策課
		医療機関内における事故報告等	医療安全対策課

		の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		
--	--	------------------------------	--	--

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	院内感染対策室	冊子ならびにデータベース管理 書類保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理室	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理室	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理室	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器安全管理室	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室 医療機器整備室 当該部署	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室 当該部署	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室 医療機器整備室	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全対策課	書類保管ならびにデータベース管理
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	院内感染対策室	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	診療情報管理課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理課	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全対策課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療監査部	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医薬品安全管理室 医療機器安全管理室	
		監査委員会の設置状況	医療監査部	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全対策課	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全対策課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全調査課 総合相談室	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全対策課	
		職員研修の実施状況	医療安全対策課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療監査部	
		管理者が有する権限に関する状況	経営企画室	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	経営企画室	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	経営企画室	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

診療に関する諸記録（現物）

（手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係わる入院期間の診療経過の要約及び入院診療計画書）

1. 診療記録（エックス線写真含む）の保管期間（電子化以前分）

- （1） 外来カルテ ： 診療の完結の日から5年間とする。
- （2） 入院カルテ ： 診療の完結の日から5年間とする。

※ただし、次に該当する記録は長期保管対象とする。

- ① 治験症例
- ② 特定生物由来製品使用症例
- ③ 損害賠償請求に関わる症例
- ④ 特定不妊治療費助成事業に関わる症例
- ⑤ 臓器等移植症例
- ⑥ 先天異常症例
- ⑦ B型・C型肝炎症例
- ⑧ 照射録
- ⑨ 産科記録
- ⑩ その他病院長が認めた症例

- （3） X線フィルム ： 1のただしに規定する長期保管分のみ

2. 診療記録（電子化以前分）の保管方法

- （1） 外来カルテ ： 全科1フォルダーの患者ID番号ターミナルディジット分類保管とする。
- （2） 入院カルテ ： 1入退院毎製本し患者IDターミナルディジット分類による分類保管とする。
- （3） X線フィルム： 患者ID番号ターミナルディジット分類による大袋保管とする。

3. 上記の診療に関する諸記録は、外来診療、入院診療、医学研究等を目的として、院内で閲覧及び借り出すことはできるが、院外へ持ち出すことはできない。

以上

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	八木憲司（事務部長），佐藤梢（診療情報管理課長）	
閲覧担当者氏名	佐藤梢（診療情報管理課長），大島慎一郎（伊勢原総務課長）	
閲覧の求めに応じる場所	会議室，診療情報管理課カルテ室，診療録開示室等	
閲覧の手続の概要		
病院の管理及び運営に関する諸記録 病院若しくは病院長宛の文書依頼に基づき、病院長が承認した内容について、閲覧場所を 定めて個別に対応を行う。閲覧時は、病院職員の立ち会いのもと実施する。		
公的監査における診療録の閲覧については、指定を受けた記録について、該当記録・書類を 紙出力し、病院職員立会いの下開示する。カルテレビュー形式で閲覧する場合は、情報 システム課に依頼し、会議室に電子カルテ閲覧の環境を設置する。病院職員が操作し、 指定の記録、あるいは診療内容について開示する。 医療スタッフの閲覧については「診療記録・情報管理規程」に基づき手続きを行う。患者側 からの個人情報開示の請求があった場合は、「個人情報開示・訂正等運用細則」に基づき 手続きを行う。		

(注)既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11 第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 当院における安全管理に関する基本的考え方 私たち教職員は、全ての行為に対して常に適度な緊張感を持ち、危機管理意識を維持し、安全な医療サービスを提供できるよう努める。 2. 医療安全管理委員会および当院の組織に関する基本的事項 (1) 医療に係る医療安全管理体制の確保及び推進を図るため、医療安全管理委員会を設置し、医療安全管理委員会の総括の下に、特定な事項を検討するため、各種の委員会を置き、詳細な運用に関しては別に定める。 また、院内感染対策、医薬品、医療機器、診療記録等、高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等、医療放射線の安全管理体制の確保については、院内感染防止対策委員会、医薬品安全管理委員会、医療機器安全管理委員会、診療記録等監査委員会、高難度新規医療技術評価委員会、未承認新規医薬品等評価委員会、医療放射線安全管理委員会と連携する。 (2) 医療に係る安全管理を行う部門として、医療監査部（医療安全対策課・医療安全調査課・院内感染対策室・放射線治療品質管理室・医薬品安全管理室・臨床研究監査室・医療機器安全管理室・医療放射線安全管理室）を置く。 (3) 副院長（医療安全担当）を医療安全管理責任者として配置し、医療監査部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する。 (4) 医療安全に係る企画立案・評価・職員の安全管理に関する意識の向上等組織横断的に指導するため専従医療安全管理者（看護師）及び医療安全専従薬剤師を医療安全対策課及び医薬品安全管理室に配置する。 3. 職員に対する医療に係る安全管理のための研修に関する基本方針 職員に対する医療に係る安全管理のための研修を「医療安全・感染防止セミナー」と位置づけ全教職員に対して、以下の研修を実施し、研修実施後の学習効果測定を実施する。 なお、新規採用者、異動者、出向終了者、育児休業・産休から復帰した者及び臨床研修医に対する研修は別途実施する。 (1) 医療安全に関する事項 (2) 感染防止対策に関する事項 (3) 医薬品関連に関する事項 (4) 医療機器関連に関する事項 (5) 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等に関する事項 (6) 診療用放射線に関する事項 (7) 相互立入り、監査委員会からの意見に関する事項 (8) その他重大な事象が発生した事項 4. 当院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 (1) インシデント／アクシデント・合併症が発生した場合は、速やかにインシデント情報登録システム（EMI）に必要事項を入力し、医療監査部へレポートを提出する。提出されたレポートが診療録及び看護記録に基づき記載されているかを専従医療安全管理者が検証する。 (2) 医療監査部で検証・分析したアクシデント（レベル 3b 以上）事例、合併症事例について病院長へ速やかに報告し、医療安全管理委員会にて検討する。 (3) 重要と思われるレポートについては、レポート・事例検討会で検証し、医療安全管理委員会に諮る。さらに、対策が必要な事象については、RCA（根本原因分析）或いは調査委員会にて検証する。	

5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針

当該者の健康回復に全力を尽くすことを優先し、可及的速やかに上司に連絡し指導を仰ぎ、必要に応じて院内に緊急情報を発信し処置を行なう十分な人員を確保する。

その後、当該者や家族に説明する際は、言い訳や憶測を避け、事故の事実関係をできるだけわかりやすく、正確に説明する。さらに、重要事象は、原則として24時間以内に事故調査委員会を立ちあげ、事実関係をできるだけ正確かつ時系列に整理する。

6. 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針

(患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む)

医療安全対策マニュアルは、当院のホームページ及び病院情報システム端末に掲載し、いつでも情報が取得できる環境を構築し公開する。

また、患者からの医療の安全管理及び安全対策等についての質問等があれば積極的に情報を開示する。

7. 患者からの相談への対応に関する基本方針

患者・家族からの相談に適切に応じる体制を確保するために、総合相談室に相談窓口を設置し、安全管理体制の確保について、関係部署に改善等の指導をする。

8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針

(1) 各部署にリスクマネージャーを配置し、医療安全管理委員会で決定した医療安全に係る事項を所属員へ周知させる。

また、安全情報としてセイフティ・トピックスの発行並びに各種ガイドラインの策定を行い教職員に周知する。

(2) 病院の医療安全管理業務が病院長の下で、適切に実施されているか等について、東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会による監査を受ける。

(3) 高難門を医療監査部内に置き、その適否については、高難度新規医療技術評価委員会、未承認新規医薬品等評価委員会の要綱に基づき審査し、病院長が決定する。高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合には、関係学会から示される「高難度新規医療技術の導入を検討するに当たっての基本的な考え方」やガイドライン等を参考に実施する。

(4) 他の特定機能病院の管理者との連携による相互立入りを実施し、技術的助言等を受ける。

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

- ・ 設置の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- ・ 開催状況：年 12 回
- ・ 活動の主な内容：

1. 委員構成(委員：37名、事務局：3名、オブザーバー：1名)

医療監査部長(委員長)、医療安全専従医師、専従医療安全管理者、医療監査部次長、院内感染対策室、専任院内感染対策責任者、放射線治療品質管理室、医薬品安全管理室、医薬品安全管理責任者、医療安全専従薬剤師、臨床研究監査室、医療機器安全管理室(医療安全専任技師)、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理室(医療安全専任技師)、医療放射線安全管理責任者、医師(内科学系・外科学系・専門診療学系・総合診療学系)、臨床研修部、診療技術部、薬剤部、看護部、褥瘡対策委員会委員長、事務(伊勢原総務課、伊勢原用度管理課、医療安全調査課、医事課、診療情報管理課)

2. 医療安全管理委員会の開催状況

実施：令和2年4月13日、令和2年5月11日、令和2年6月8日、令和2年7月13日、

令和2年8月11日、令和2年9月14日、令和2年10月12日、令和2年11月9日
令和2年12月14日、令和3年1月12日、令和3年2月8日、令和3年3月8日

3. 主な内容

- (1) 提出されたインシデント／アクシデントレポートの検討
- (2) 医療に係る医療安全の諸規程の整備
- (3) 重大な問題が発生した事象に対する事故調査委員会の設置
- (4) 重要な対策が必要な事象に対する「RCA（根本原因分析）検討会」の実施
- (5) 医療安全・感染防止セミナーの企画、実施及びセイフティ・トピックスの発行
- (6) 職員研修実施後の学習効果測定の実施
- (7) 医療安全対策チーム設置の検討
- (8) 東海大学医学部付属病院群への医療安全に関する周知事項の審議
- (9) リスクマネージャー会で検討する事項の審議及びリスクマネージャー会の実施
- (10) 医療安全対策マニュアル及び医療安全基本マニュアル（携帯版）の策定
- (11) 医療安全月間の企画
- (12) 院内感染防止対策委員会、医薬品安全管理委員会、医療機器安全管理委員会、診療記録等監査委員会、高難度新規医療技術評価委員会、未承認新規医薬品等評価委員会、医療放射線安全管理委員会で策定される、院内感染対策、医薬品、医療機器、診療記録等、高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等、医療放射線の安全管理体制について連携する。
- (13) 厚生労働省への提出事象の分類
- (14) 厚生労働省への医療機器に関する提言事象の抽出
- (15) 前各号に掲げたもののほか委員長が必要と認めた事項

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 2 回

・ 研修

医療安全・感染防止webセミナー：全2回
(DVD視聴による医療安全・感染防止セミナー：全17回)

・ 研修の内容（すべて）：

1. 第1回医療安全・感染防止webセミナー：令和2年8月1日～令和3年3月31日
「医療法改正・特定機能病院承認要件の周知」
「医薬品の安全管理」
「異状死の届け出」
「院内自殺の現状と予防について」
「新型コロナウイルス緊急事態宣言と東海大学の対応」
2. 第2回医療安全・感染防止webセミナー：令和2年11月4日～令和3年3月31日
「アドバンス・ケア・プランニング」
「インスリン療法による入院糖尿病患者の血糖管理について」
「診療用放射線の安全利用のための研修」
「医療機器の安全管理」
「外来における経口抗菌薬の適正使用」

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 各年度のレポート報告提出枚数
1) 平成30年度：5,663枚 2) 令和元年度：5,576枚 3) 令和2年度：5,308枚
2. 発生した事故等の医療安全管理委員会への報告
インシデント／アクシデント・合併症レポートは専従医療安全管理者がレポート取り扱い基準に従ってレポート内容の確認を行い、月別アクシデント・合

併症レポート一覧表を作成している。医療監査部で一覧表事例の分析及び検証を行い、結果について医療安全管理委員会へ報告を行っている。また、アクシデント（レベル3b以上）・合併症事例、重大事象につながりそうな事例は病院長へ速やかに報告し、対応を検討、特に重要な事象はレポート・事例検討会に諮り、レポート・事例検討会で検討された対策案等を医療安全管理委員会へ具申している。

3. 事故等の収集・分析による組織としての改善策の企画立案及びその実施状況の評価と情報の共有
 - (1) 月別にインシデント／アクシデントレポートを各事象（CV関連、気道関連、ドレーン関連、化学療法関連、医療機器関連、転倒・転落関連、医薬品関連）ごとに統計・解析し、医療安全管理委員会で審議し病院運営会議に諮り、各種会議体（診療科長会、診療協議会、RM会）、セミナー等で注意を喚起している。
 - (2) レポート・事例検討会で提案された対策案等を医療安全管理委員会で審議し、さらに検討・対策が必要な事象は、根本原因分析（RCA）、各分野の医療安全対策チーム（気道安全管理、CVC、ドレーン・チューブ類、転倒転落、肺血栓塞栓症、抗凝固剤、予期せぬ急変、救急カート運用、身体抑制・自己抜去防止、患者誤認防止）で対策案等を検討している。
 - (3) 上記で検討された対策案等は、各種会議体（病院運営会議、診療科長会、診療協議会、RM会）、セミナー、セイフティ・トピックス等で周知している。
4. 重大医療事故発生時の病院管理者への報告及び再発防止策（背景要因・根本原因分析）
 - (1) 重大な医療事故が発生した場合は、手順に従い、速やかに病院長に報告する。また、インシデント／アクシデントレポートとは別に、時系列の報告書（事例報告書）を24時間以内に提出させ、病院長へ報告している。
 - (2) 事象に応じて、根本原因分析（RCA）、事故調査委員会、事故検証委員会、事故外部評価委員会を立ち上げ、再発防止策を講ずる。
5. 診療記録等監査
診療記録等の記載から医療過程においてどのような影響があったか、診療記録等監査委員会で検証している。診療記録等監査委員会の統括の下に、インフォームド・コンセント記載状況確認分科会、診療記録等記載状況確認分科会を置き、活動報告を受け、適切なインフォームド・コンセント及び診療記録等の記載実施について協議し、必要に応じて医療安全管理委員会へ報告を行っている。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 院内感染対策のための指針 2007年7月1日策定、2009年8月31日改訂、2014年5月20日改訂、2018年4月17日、2021年8月17日改訂 以下の7項目は、平成19年4月1日付で公布された医療法施行規則改正に基づいている。 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会その他の組織に関する基本事項 院内感染防止対策委員会、院内感染対策チーム（ICT）・抗菌薬適正使用支援チーム（AST）、 院内感染対策チーム（ICT）ラウンド、リンクナース・リンクドクター 3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のための必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： 1. 委員の構成（委員：24名） 病院長、医療監査部長、看護部長、薬剤部長、事務部長、臨床検査科長、院内感染対策室長、中央手術室・中央滅菌材料室長、栄養支援センター長、感染症対策に関し相当の経験を有する医師、ほか委員長が必要と認めた関係者 2. 主な内容 （1）新興感染症対策に関すること。 （2）感染症の地域流行などの感染症情報の把握と提供に関すること。 （3）院内感染発生の監視・疫学調査および情報の提供に関すること（細菌培養・薬剤感受性などの情報）。 （4）感染症発生の届出に関する業務およびその情報の保管に関すること。 （5）病院環境汚染の把握、医薬品や医療機器汚染の監視・指導に関すること。 （6）抗菌薬・消毒薬の使用状況の把握・適正使用の指導に関すること。 （7）院内の感染対策や感染制御の立案・実行・評価に関すること（院内感染防止対策マニュアル）。 （8）感染対策全般に関するコンサルテーションや指導・教育に関すること。 （9）院内感染防止対策に係る経費算定・管理に関すること。 （10）その他、病院長の指示する業務、あるいは委員会決定事項の遂行に関すること。 3. 院内感染防止対策委員会開催状況 2020年4月21日、2020年5月19日、2020年6月16日、2020年7月21日、2020年8月18日、 2020年9月15日、2020年10月20日、2020年11月17日、2020年12月15日、2021年1月19日、 2021年2月16日、2021年3月16日	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年28回
・ 研修の内容（すべて）： 【第1回 2020年度医療安全・感染防止WEBセミナー】	

2020年8月1日～2021年3月31日

- ・ 受講内容
「医療法改正・特定機能病院承認要件の周知」
「医薬品の安全管理」
「異状死の届出」
「院内自殺の現状と予防」
「新型コロナウイルス緊急事態宣言と東海大学の対応」

【第2回 2020年度医療安全・感染防止WEBセミナー】

2020年11月4日～2021年3月31日

- 「アドバンス・ケア・プランニング」
「インスリン療法による入院糖尿病患者の血糖管理について」
「医療用放射線の安全利用のための研修」
「医療機器の安全管理」
「外来における経口抗菌薬の適正使用」

【2020年度感染防止WEBセミナー】

2021年1月4日～2021年3月31日

- ・ 受講内容
「感染防止基本手技」
「抗菌薬適正使用に関する現状と課題について」

【職業別教育実績：全25回（WEB開催期間の全日数含まず）】

- ・ 新入オリエンテーション・研修医対象クルーズ・清掃業者対象セミナー・看護師中途採用者オリエンテーション・看護助手レクチャー・各部署対象感染対策レクチャーなど

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 病院における発生状況の報告等の整備

- (1) 感染症の院内における発生を迅速に把握できる方法を確認し、院内感染を未然に防ぐ、または蔓延を防止するために、リアルタイムに対策を立てられるようにする。
- (2) 感染症の発生の報告は、主治医および病棟医長・看護単位責任者から感染症発生報告書にて、院内感染対策室を経由して病院長に提出される。
- (3) 「感染症法」に規定される届出は最寄りの保健所長を経由して都道府県知事に届け出る。

2. その他の改善のための方策の主な内容

耐性菌発生時の病棟別、診療科別動向調査を行い、薬剤使用状況との解析による各部署へのフィードバック、さらに担当医に対するコンサルテーションや病棟ラウンドによる感染防止対策

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 36 回
・ 研修の主な内容： (1) 全職員に対する講義、医療安全・感染防止Webセミナー：全2回 「医薬品の安全管理」 「インスリン療法による入院糖尿病患者の血糖管理について」 (2) 新規採用者《医師以外》に対する講義 医薬品の安全管理について 2020年4月1日 (3) 医師に対する講義 全臨床助手・臨床研修医（麻薬・向精神薬・筋弛緩剤（毒薬）の 取り扱いと薬剤部門の業務） 2020年4月16日 麻酔科研修医（中央手術室における麻薬・筋弛緩薬・ 向精神薬の管理について） 2020年4月4日 救命救急科研修医（救急救命士含む） （救命救急センターにおける麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理） 毎月1回 計12回 (4) 看護師に対する講義 看護部新人研修（医薬品の安全管理） 2020年4月18日 新人看護師向け医薬品の安全管理について（全病棟、中央手術室） 2020年4月17日～4月23日 計13回 6階病棟における重点管理薬品の管理について（新人看護師） 2020年6月22, 26日 計2回 中央手術室における医薬品の管理・運用（手術室新人外回り看護師） 2020年8月28日 抗菌薬及びTDMIについて（13B病棟新人看護師） 2020年9月3日 抗がん剤、制吐剤について（6A病棟看護師） 2020年12月18日	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 （有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・ 病棟・外来に定数保管されている医薬品の保管状況及び品質管理（年3回） ・ 医薬品情報の収集・管理・周知 周知した医薬品情報について医薬品安全管理委員会（月1回開催）に 報告し周知状況を確認 ・ 未承認・適応外・禁忌等に該当する処方に関する情報 使用状況について医薬品安全管理委員会（月1回開催）に報告 ・ 医薬品安全使用のための業務手順書の遵守状況の確認 手順書の遵守状況について病棟専任薬剤師によるチェックシートを用いた確認 医薬品安全管理室による医薬品安全ラウンドの実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 【未承認新規医薬品】	

点滴用AZT、AZTシロップ：HIV合併妊娠での母子感染防止
Daraprim（ピリメタミン）：トキソプラズマ脳症

【適応外使用】

アルギニン点滴静注：ミトコンドリア脳筋症
ゾレドロン酸点滴静注：非感染性下顎骨骨髓炎の症状改善
アドリアシン注：GC療法耐性の膀胱肉腫の転移再発
ロイコボリン錠：含嗽用として使用
ポリドカスクレロール：静脈奇形をはじめとした血管奇形に対する硬化療法 など
ベネクレクスタ錠：急性骨髄性白血病（承認以前）

（以下、COVID-19感染症治療薬として）

カレトラ配合錠
オルベスコ200 μ gインヘラー
アビガン錠
ナファモスタットメシル酸塩注射液
カモスタットメシル酸塩錠
プラケニル錠
アクテムラ点滴静注

（院内製剤品）

メソトレキセート点眼液（注射用メソトレキセート）
5Fu点眼液（フルオロウラシル注）
トリクロール酢酸 30%

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
- ・ 薬剤師は内服・注射調剤、病棟業務等において未承認・適応外・禁忌医薬品の使用を把握した場合は、院内の情報端末にデータを登録する
- ・ 医薬品安全管理室は未承認・適応外・禁忌医薬品の使用状況を把握・管理し、医薬品安全管理委員会（月1回）へ報告する
- ・ 未承認新規医薬品等の提供について管理部門の業務手順書に、適応外使用について審査対象とするか「適応外使用を行う医薬品のリスク分類表」を制定し、申請の振り分けを行う。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年151回
・ 研修の主な内容： 1) 第2回 医療安全・感染防止Webセミナー『医療機器の安全管理』2020.11.4～2021.3.31 2,292名 2) 第3回 リスクマネージャー会『胸腔ドレーンの安全管理』2020.9.25 104名 3) 各医療機器の取扱い研修（病棟・各部門等）計2,578名 補助循環装置（ECMO・IABP・IMPELLA）、人工呼吸器、除細動器、閉鎖式保育器、輸液・シリンジポンプ、ネーザルハイフロー、生体監視モニタ関連、体外式ペースメーカー、その他（新規導入医療機器含む）。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	・ 医療機器に係る計画の策定 （有・無） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 1) 人工心肺装置及び補助循環装置：年1回実施 2) 人工呼吸器：年1～2回実施 3) 血液浄化装置：年1～2回実施 4) 除細動装置：年1回実施 5) 閉鎖式保育器：年1回実施 6) CTエックス線装置（医用X線CT装置）：年1～2回実施 7) 診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器）：年4回実施 8) 診療用放射線照射装置（腔内照射装置）：年4回実施 9) 磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）：年2回実施 10) その他医療機器（ポンプ関連等）：年1回実施 点検内容：動作確認、精度確認、摩耗・損耗確認、安全機構確認、バッテリー及びパーツ交換
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有・無） 1) 医療機器安全管理室ホームページ上に、安全情報及び自主回収情報を掲載。 2) PMDA・医療機能評価機構、メーカーからの安全自主回収情報を関連部署と共有し、毎月開催の医療機器安全管理委員会で定例報告。 ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：有（適応外使用として2例） 1) 蛍光尿管カテーテルを尿管以外（経鼻的に胃管・経尿道的に膀胱へ挿入）で使用。 2) ディスポーザブル硬膜外針を心室頻拍患者のアブレーション治療で、心外膜アプローチを要する場合に緊急的に使用。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1) 医療機器に関わる「医療安全対策マニュアル及び基本マニュアル（携帯版）」の情報更新。 2) 医療機器の安全管理を推進するため、毎月1～2病棟において医療機器に関するラウンドを行い、機器の管理や使用方法の確認、医療機器に関する情報提供（モニターアラーム解析）医療機器に関する相談などを実施。 3) 医療機器に関するインシデント・アクシデント事例の調査及び改善。 4) 医療機器安全管理委員会にて、医療機器全般の不具合、安全使用、管理方法等についての検討の実施。 5) 医療機器の研修コンテンツ（説明文付きPPT）の作成とホームページへの掲載。本コンテンツを用い、当該部署のリスクマネージャーが主体となり、スタッフへの安全教育を実施。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
・ 責任者の資格 (医師)・歯科医師 ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療監査部を設置し、医療安全担当副院長／医療監査部長が医療安全管理責任者として配置。医療安全管理委員会は、医療監査部長が委員長を務め、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者は委員となり、委員会にて活動報告を求めている。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (6名) ・ 無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品に関する情報の収集・整理・周知に関する業務は薬剤部薬剤科 DI 係が行う ・ 医薬品の添付文書の情報のほか、医薬品製造業者、行政機関 (PMDA 等)、学術誌等から情報を広く収集し整理する ・ 院内で発生した医薬品に係わる副作用情報を積極的に収集し、評価するとともに一元的に管理する ・ 医薬品に関する情報の周知は薬剤部薬剤科 DI 係より、各部門、各職種へ病院情報システム、紙媒体などを通じて迅速に提供・周知を行う ・ 医薬品安全性情報等のうち、迅速な対応が必要となるものを把握した際は、当該医薬品を処方した医師及び投与された患者を速やかに特定し、必要な措置を迅速に講じる ・ 薬剤部薬剤科 DI 係より発信された情報は院内ポータル掲示板にて常時閲覧可能とする ・ 病棟専任薬剤師と薬剤部薬剤科 DI 係の薬剤師が必要に応じカンファレンス等を行い病棟専任薬剤師が病棟薬剤業務を実施するにつき必要な情報を提供する ・ 医薬品安全管理責任者は、医薬品安全管理委員会 (月 1 回開催) に薬剤部薬剤科 DI 係より報告された医薬品情報および副作用情報の周知状況の確認を行う (前年度件数) 薬事委員会採用情報 11 回 薬事委員会試用情報 10 回 薬事委員会採用中止情報 11 回 「効能効果」「用法用量」の追加・変更情報 14 回 医薬品・医療機器等安全性情報 10 回 医療安全情報 30 回 医薬品回収・品薄情報 155 回 DI ニュース 41 回 副作用関連情報 (院内副作用報告一覧) 13 回 薬発 等 2 回 その他 (販売中止、包装変更、オーダ停止、オーダ開始など) 42 回 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 ・ 薬剤師は調剤時、病棟薬剤業務等で未承認・適応外・禁忌等に該当する処方を把握した場合は院内の情報端末にデータ登録する。担当者は添付文書、ガイドライン、文献等から、有効性、安全性に関する情報を収集し、医薬品安全管理委員会に報告し、必要に応じ適応外使用申請を依頼す	

る。

- ・ 管理部門は未承認新規医薬品等（適応外使用も含む）の使用について、適応外使用医薬品については「適応外使用を行う医薬品のリスク分類表」より振り分けを行い、必要に応じ適応外使用申請を依頼する。
- ・ 医薬品安全管理責任者は、未承認等の医薬品に関しその使用状況の周知を行う。
- ・ 担当者の指名の有無（有・無）
- ・ 担当者の所属・職種：
（所属：薬剤部薬剤科 医療監査部医薬品安全管理室付 ， 職種 薬剤師 ）
（所属：薬剤部薬剤科 医療監査部医薬品安全管理室付 ， 職種 薬剤師 ）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

有・無

- ・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有・無）
- ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：IC記載状況確認分科会を定期的に開催し、テーマを決めて検証を行っている。検証結果で改善すべき点が見受けられた診療科については、改善指摘文書を発行し、回答書の提出を求めている。

IC用紙の記載不備の点検結果を科別に集計し、診療科長会にて周知・指導を行っている他、今期は次の点について「診療記録等監査委員会」に報告し、診療科長会等で周知・指導を行っている。

① インフォームド・コンセントの運用フローチャートを作成し院内ポータル掲載

② 定型フォーマット化されている説明・同意書の改訂

- ・ 病状説明書に患者の理解度を示す確認欄を設けた。
- ・ IC用紙の未スキャン防止のために帳票内に注意書きを追加した。
- ・ 各科で別々に使用していた膿瘍穿刺ドレナージの説明・同意書を統合した。
- ・ 経食道心エコー検査の説明・同意書に咽頭出血の合併症を追加した。
- ・ 心臓弁膜症手術の説明・同意書に心タンポナーデの合併症を追加した。

③ 記載不備が多い説明・同意書の改訂

- ・ 造影MRI検査、造影CT検査、ビグアナイド系糖尿病薬の中断・継続の説明・同意書の禁忌・原則禁忌の項目を修正した。
- ・ 検査用と手術用に分かれていた抗凝固薬・抗血小板の中断・継続の説明・同意書を統合した。

④ 運用徹底不備の再周知

- ・ インフォームド・コンセントのタイトル使用、ステロイド療法の説明・同意書の使用、病

状説明書の使用について、徹底するよう再指導した。 ⑤ 検証結果を基に該当診療科へ改善指摘 ・典型的な手術は定型フォーマット化するよう指導した。 ・リスクが高い手術の IC を取得する際は、看護師等を同席させるよう指導した。 ・インシデント、アクシデント事例や緊急症例が発生した場合は、事後検証の可能性も考慮し、時系列で事象をまとめて記載するよう指導した。 ・合併症発生時は手術記録のみではなく、診療記録にも詳細に記載するよう指導した。
--

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 1. 診療録等の記載状況を日々確認（質的点検）し、記載不備の記録については、その都度記載医に訂正を求めている。 2. 診療記録等記載状況確認分科会を定期的を開催し、テーマを決めて検証を行っている。2020 年度より、監査委員にリスクマネージャー、ゲスト委員として臨床技術部を追加した。 3. 今期は「前年度指摘事項振り返り」「外科症例」「内科症例」「専門診療症例」をテーマとして横断的監査を行い、以下の内容について指摘し、改善・周知を求めた。 ① 診療記録の記載方法について、当院の規程に基づき記載するよう指導。 ② 禁忌情報について、患者基本情報に記載するよう指導。 ③ 説明内容について、説明または同席した医師は、同席者・説明内容・患者の反応・理解度について、経過記録に記載するよう指導。 4. 検証結果については診療記録等監査委員会に報告し、全科に共通する事項については、医療安全セミナー、診療協議会、診療科長会等において周知・指導を行った。 5. 診療記録等監査委員会より、画像レポート偶発症例の検証依頼があり、診療録を確認し、発生件数等の報告および診療科長・リスクマネージャーへ通知文配布を行った。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
・所属職員：専従（9）名、専任（2）名、兼任（9）名 うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（8）名 うち薬剤師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（0）名 うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（0）名	

(注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- (1) 医療安全管理委員会の運営に関すること
 - ①医療安全管理委員会の資料及び議事録の作成と保存
 - ②その他医療安全管理委員会の庶務に関すること
- (2) 医療事故発生時の対応に関すること
 - ①事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導を行う
 - ②患者及び家族への説明など事故発生時の対応状況について確認及び必要な指導を行う
 - ③事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認及び必要な指導を行う
- (3) 安全管理のための職員に対する教育、研修の企画・運営に関すること
- (4) 医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関すること
 - ①インシデント及びアクシデント発生時における情報の収集と分析
 - ②事故予防策、再発予防策の立案・評価及び見直し
- (5) 医療安全に係る連絡調整に関すること
- (6) その他医療安全対策の推進に関すること
- (7) 医療安全に関する官公庁への届出及び報告に関すること
- (8) 診療記録等の監査に関すること
- (9) 医薬品安全管理委員会の運営に関すること
- (10) 医療機器安全管理委員会の運営に関すること
- (11) 高難度新規医療技術評価委員会の運営に関すること
- (12) 未承認新規医薬品等評価委員会の運営に関すること
- (13) 医療放射線安全管理委員会の運営に関すること

※診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例

- ・ 予定手術開始前 1 時間以内の予防的抗生剤投与割合
- ・ 再手術率（48 時間以内、術後 30 日以内）
- ・ 医原性気胸の発生率
- ・ 術後合併症発生率
- ・ 退院後緊急入院率（2 週間・6 週間・30 日以内）
- ・ 死亡退院患者率

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 4 件）、及び許可件数（ 4 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：

- ・診療科の長から申請のあった申請内容を確認し、高難度新規医療技術評価委員会へ当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求める。
- ・評価委員会が述べた意見を踏まえ、当該高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請のあった診療科の長に対しその結果を通知する。
- ・導入後、5症例程度の手術記録、診療録などの記載内容を当該科の長より報告を求める。
- ・当該高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に及び術後に患者が死亡した場合、その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認する。
- ・当該高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、従業者の遵守状況の確認を行う。
- ・医療安全管理委員会と連携する。
- ・評価委員会に係る事務。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（23件）、及び許可件数（23件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・活動の主な内容：
 - ・未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否を決定する部門を、医薬品は医薬品安全管理室、医療機器は医療機器安全管理室とし、未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する業務を処理する。
 - ・診療科の長は、当該診療科において未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合には、あらかじめ、医薬品安全管理室または医療機器安全管理室に当該未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の申請を行う。
 - ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、診療科の長から申請のあった申請内容を確認するとともに、未承認新規医薬品等評価委員会に対して、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求める。
 - ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、評価委員会が述べた意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を通知する。

・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、当該未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて使用されていたかどうかに関し、定期的に診療録等の記載内容を確認する。 ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて使用されていたかどうか、従業者の遵守状況の確認を行う。 ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、未承認新規医薬品等の使用の適否等についての結果、及び未承認新規医薬品等規程に定める事項の従業者の遵守状況を病院長に報告する。 ・医療安全管理委員会と連携する。 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無） ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（☒有・無）
⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況 ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 7 4 7 件 ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 1 9 8 件 ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 ①診療科からの報告状況の確認及び確認結果の管理者への報告 ②提出率を示し、報告状況が不十分な場合は、当該科の長を指導
⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況 ・他の特定機能病院等への立入り（☒有（病院名：聖マリアンナ医科大学病院）・無） ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒有（病院名：聖マリアンナ医科大学病院）・無） ・技術的助言の実施状況 特に技術的助言なし
⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 ・体制の確保状況 （患者相談窓口の設置状況） ・設置年月日：昭和 5 4 年 4 月 1 日 ・窓口の名称：総合相談室 ・相談に応じる時間帯：月曜日～金曜日；9:00～15:00、土曜日（第2、第4を除く）9:00～12:00 ・責任者職種：患者支援センター所長／医師 ・対応職員：患者支援センター総合相談室 社会福祉士

(窓口の活動に関する患者への明示)

- ・明示している場所：各科外来、東海ホール・けやき口掲示板、各病棟
- ・明治内用：活動の手指、設置場所、担当者・責任者、退翳自汗

(窓口の活動に関する規約の整備状況)

- ・規約の整備（平成15年4月1日）

(相談により患者や家族が不利益を受けないような適切な配慮

具体的な配慮の状況

- *プライバシーの保護、匿名での相談及びご意見箱の設置（無記名での投書を可能としている）

(窓口以外の苦情相談の受付方法)

- ・電話、投書箱、インターネット相談の実施

- *電話相談：総合相談室、当該部署で受けた内容を記録用紙あるいは任意の用紙に記載している

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- ・研修実施後の学習効果測定として e-learning を年1回実施

- ・RM 会

<内容>

令和2年9月25日 「2020年度医療安全に関する周知内容」

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：令和2年度 特定機能病院管理者研修[継続]（令和2年11月11日）

医療安全管理責任者：令和2年度 特定機能病院管理者研修[継続]（令和2年11月25日）

医薬品安全管理責任者：令和2年度 特定機能病院管理者研修[継続]（令和3年2月4日）

医療機器安全管理責任者：令和2年度 特定機能病院管理者研修[継続]（令和3年2月4日）

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置

の状況

- ・ 第三者による評価の受審状況
2020年3月6日認定
- ・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況
公表していない
- ・ 評価を踏まえ講じた措置

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
- 基準の主な内容 (1) 日本国の医師免許を有する者 (2) 医学教育、学術研究及び診療に関して高い見識を有する者 (3) 本学の建学の精神に深く共鳴して、その具現を積極的に推進しようとする者 (4) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者 (5) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者 - 基準に係る内部規程の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) - 公表の方法 東海大学医学部附属病院掲示板に掲示 (事由発生時)

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				☒ 有 ・ 無
- 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ 無) - 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) - 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) - 公表の方法 東海大学医学部附属病院掲示板に掲示				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
坂部 貢	医学部 学部長	○	「東海大学医学部附属病院院長候補者の選考規程」の規定に基づき、医学部長は委員長を務める。	☒ 有 ・ 無
飯田 政弘	伊勢原校舎・附属病院本部長		「東海大学医学部附属病院院長候補者の選考規程」の規定に基づき、委員に選出。	☒ 有 ・ 無
八木 憲司	医学部附属病院病院事務部長		同上	☒ 有 ・ 無
鎌田 修博	伊勢原協同病院病院長		「東海大学医学部附属病院院長候補者の選考規程」の規定に基づき、学校法人東海大学と利	有 ・ ☒ 無

			害関係のない外部有識者として 委員に選出。	
秋澤 孝則	一般社団法人 秦 野伊勢原医師会 副会長		同上	有・ ☒ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
・合議体の主要な審議内容 ①付属病院の事業計画の企画・立案に関する事項 ②付属病院の管理・運営に関する事項 ③付属病院の予算・決算に関する事項 ④付属病院の人事に関する事項 ⑤その他病院長が必要と判断した審議事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 診療科長会（構成員：医師等；各診療科長）、病院運営連絡会（構成員：医師、看護師、技術職員、事務職員；各病棟・部署所属長）での周知報告により、全体周知を図っている。 また、必要に応じて病院本部会議、医学部協議会、医学部教授会等で報告するとともに、文書による周知を行っている。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
渡辺 雅彦	○	医師	伊勢原校舎・付属病院副本部長、病院長
飯田 政弘		医師	伊勢原校舎・付属病院本部長
八木 憲司		事務職員	伊勢原校舎・付属病院副本部長、伊勢原事務部長、病院事務部長
深川 雅史		医師	副学部長（診療担当）
小林 広幸		医師	副学部長（研究）、医学研究科長、治験・臨床研究センター所長
吉岡公一郎		医師	副院長、診療部長
浅野浩一郎		医師	副院長
岩崎 正之		医師	副院長、中央診療部長
大上 研二		医師	副院長、医療監査部長
小川 吉明		医師	副院長、伊勢原情報システム部長

横田 弘子		看護師	副院長、看護部長、看護師キャリア支援センター所長
鈴木 秀和		医師	臨床研修部長
中川 儀英		医師	診療協力部長
安藤 潔		医師	オンコロジーセンター所長
石本 人土		医師	総合周産期母子医療センター所長
山本 賢司		医師	患者支援センター所長
守田 誠司		医師	高度救命救急センター所長
川又 郁夫		診療放射線技師	診療技術部長
鈴木 優司		薬剤師	薬剤部長
原 義徳		事務職員	伊勢原事務部次長、 伊勢原経営企画室長代行
中村 晃司		事務職員	伊勢原経営企画室課長
萩野 智尉		事務職員	医事課長
佐藤 梢		事務職員	診療情報管課長
宗像 哲夫		事務職員	伊勢原財務課長
志内 哲也		事務職員	伊勢原用度管理課長
大島慎一郎		事務職員	伊勢原総務課長
桑久保ひとみ		事務職員	伊勢原人事課長
志田 紀子		事務職員	伊勢原情報システム課長
齊藤 成広		事務職員	臨床研修部事務室長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・**無**）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容

病院長について以下のとおり規定している。

- ① 病院に病院長を置く
- ② 病院長は、医療法第10条の規程に則ったものであるとともに、人格が高潔で学識に優れ、かつ、病院の管理・運営に関し識見を有する者とする。
- ③ 病院長は、病院管理者として病院の業務を統括する。
- ④ 病院長は、病院で行われる診療、教育及び研究について、その実施を許可し、実施状況について報告を求め、必要に応じて是正又は停止を命ずることができる。
- ⑤ 病院長の選任及び任期については、「東海大学医学部附属4病院における病院長及び副院長の選任規程」の定めるところによる。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副院長（担当業務：診療・渉外、病院長代行）

副院長（担当業務：診療協力、働き方改革）

副院長（担当業務：中央診療）

副院長（担当業務：医療安全、病院長代行）

副院長（担当業務：情報システム）

副院長（担当業務：看護・患者支援）

病院事務部長（担当業務：事務全般）

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

医学部附属病院部門 執行部研修会

〔開催時期〕 6月

〔研修内容〕 本院及び医学部附属東京病院、同大磯病院、同八王子病院の各病院長、看護部長、事務部長から経営分析とその評価、当年度事業計画に沿った取り組み、医療安全対策など、直近までの状況を踏まえ、問題点とその改善策について説明し、議論する。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					有・無
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： 医療安全管理業務（以下の(1)～(6)）の実施状況について管理者から報告等を求め、その適切性を判断する。また、必要に応じて、是正措置を講じるよう、理事長及び管理者に対し、書面により意見を表明する。 (1) 医療安全管理責任者の業務 (2) 医療安全管理部門の業務 (3) 医療安全管理委員会の業務 (4) 医薬品安全管理責任者の業務 (5) 医療機器安全管理責任者の業務 (6) その他医療安全管理業務に係る事項 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無） ・ 委員名簿の公表の有無（有・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・ 公表の方法： 当院ホームページに委員名簿、委員の選定理由を掲載。 議事録は監査委員会終了後に掲載。					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三木 保	東京医科大学 特任教授（医師） （前東京医科大学 大病院長）	○	特定機能病院の管理者を経験し広い識見その他の学識経験を有している者。また、特定機能病院医療安全管理責任者を経験し医療安全管理に長けている者。さ	有・無	医療に係る安全管理に関する識見を有する者

			らに、医療安全や質の向上を目的に医療安全文化の構築を推進する者		
大塚 達生	弁護士 (神奈川県弁護士会)		患者さん側の立場に立った弁護をされている者	有・ ☒ 無	法律に関する識見を有する者
山口 育子	認定 NPO 法人 ささえあい医療人権センター COML 理事長		患者と医療者の協働の実現により医療現場により良いコミュニケーションを築く活動をされている者	有・ ☒ 無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
黒石 正幸	伊勢原市保健福祉部長		行政としての立場及び一般の立場の代表者	有・ ☒ 無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
安田 聖栄	医療法人社団 あんしん会四谷メディカルキューブ理事長(医師) (元東海大学医学部教授、 前東海大学医学部付属病院副院長)		東海大学医学部付属病院の医療安全統括者を経験し、医療安全管理に長けている者	☒ 有・無	医療に係る安全管理に関する識見を有する者
千野 修	東海大学医学部付属東京病院 副院長・医療安全対策室長		東海大学医学部付属東京病院の医療安全統括者であり、医療安全管理に長けている者。また付属病院群の医療安全に係る責任者の代表者	☒ 有・無	医療に係る安全管理に関する識見を有する者

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・ 体制の整備状況及び活動内容

病院長が議長となり、病院の各種事業について審議・報告する「病院運営会議」に、各種の職種を出席させており、相互牽制する体制を敷いている。

・ 専門部署の設置の有無（ ☒ 有 ☐ 無 ）

病院を含む法人全体を担当する、以下の部署を設置している。

業務の監督体制：監査室

コンプライアンスに係る体制：学園事務センター総務ユニット

病院内で担当する部署としては、伊勢原校舎・付属病院本部伊勢原経営企画室、伊勢原事務部伊勢原総務課が担当する。（上記の「病院運営会議」の運営を含む）

・ 内部規程の整備の有無（ 有 ☒ 無 ☐ ）

・ 内部規程の公表の有無（ 有 ☒ 無 ☐ ）

・ 公表の方法

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 病院外を含む法人全体の監督をする会議体として、定例理事会が開催されている。 理事には外部有識者を含み、メンバーは学校法人東海大学のホームページでも公開している。 ・ 会議体の実施状況（ 年 5 回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ 有・無 ）（ 年 5 回 ） 病院長は伊勢原校舎・付属病院本部副本部長を務め、定例理事会には、 医学部付属病院部門部門長（伊勢原校舎・付属病院本部本部長、前病院長）、 医学部付属病院部門副部門長（病院事務部部长）が常務理事として毎回参画している。 上記は当該理事の参画状況。 ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有・無 ） ・ 公表の方法			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 （○を付す）	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の
情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（☒有・無） ・ 通報件数（年 3 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための 方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（☒有・無） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（☒有・無） ・ 周知の方法 ・ 病院情報端末の医療安全アイコン内に「内部通報」を掲載 ・ 医療安全対策マニュアル／医療安全基本マニュアルに医療安全管理の適正な実施に疑義が 生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口及び使用方法について掲載 ・ 医療安全・感染防止セミナー、RM 会、e-learning で周知 ・ 医療安全ラウンドで確認し、理解が不十分な場合はその場で指導を行い、責任者宛にフィード バックしている。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ホームページにて、病院の概要、理念、基本方針、取り組み、診療機能、診療実績、医師の専門性、各種講座・講演会等の情報発信を行っている。 また、近隣医療機関向けには、「診療案内」、「のぞみ」等の冊子・チラシを配布、患者さん向けには「けんこうさろん（季刊誌）」、「医学小知識（毎月）」を定期発行している。 院内の掲示板には「病院の理念」「基本方針」を明示している。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 【他職種にて構成するチーム医療の体制について】 栄養サポートチーム・呼吸ケアチーム・緩和ケアチーム・褥瘡対策チームなどが定期的に回診を行い、診療科の枠を超え患者のケアにあたっている。 また、口腔機能管理が必要な患者に対して、手術を実施する診療科と口腔外科が医科歯科連携を行い、周術期等口腔機能管理を実施している。	